

令和 4 年 6 月 29 日現在

機関番号：32660

研究種目：新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H06391

研究課題名(和文) 予防を科学する炎症細胞社会学

研究課題名(英文) Preventive medicine through inflammation cellular sociology

研究代表者

松島 綱治(Matsushima, Kouji)

東京理科大学・研究推進機構生命医科学研究所・教授

研究者番号：50222427

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 151,200,000円

研究成果の概要(和文)：総括班のもとに、scRNA-seqおよび種々のomics解析、情報解析を支援する炎症細胞社会解析センターを設置し、各計画研究、公募研究を支援した。領域代表者らが持つ標準化・最適化した細胞調製技術と独自に開発した高感度・精度scRNA-seq技術を領域共通の基盤技術とすることで、疾患・臓器横断的なデータ比較を可能とする疾患scRNA-seqデータベースを構築した。また、これらのデータを生物学的に解釈するための新規情報解析技術を確立した。個々の疾患についても予防・治療に繋がりうる様々な標的細胞、分子が得られており、今後の臨床開発への進展、疾患予防・治療への応用が期待される。

研究成果の学術的意義や社会的意義

肺、肝臓、腎臓、膵臓、腸管、皮膚などの疾患モデル、臨床検体について、サンプル調製からデータ解析までの工程を標準化したscRNA-seqデータを横断的に集積した炎症細胞社会データベースは、今後の疾患研究と創薬、そして予防戦略の構築に大きく貢献すると期待している。また、肺線維症における、病的C1q+マクロファージやアミノ酸トランスポーター関連分子とその制御による線維化予防、2型糖尿病の未病状態特異的マーカーの同定、肝線維化診断マーカーの同定、慢性腎障害の予防剤、老化細胞除去剤、脳障害に対する保護剤などが見いだされており、今後の臨床開発への進展、疾患予防・治療への応用が期待される。

研究成果の概要(英文)：The Center for the analysis of Cellular Society of Inflammation, which supports scRNA-seq, various omics analyses, and information analysis, was set up under the General Affairs Group to support each planned and publicly research project. By using the standardized and optimized cell preparation technology of the project leaders and the highly sensitive and accurate scRNA-seq technology developed originally by the project leaders as the common basic technology for the project, a disease scRNA-seq database was constructed to enable cross-sectional data comparison across diseases and organs. We have also established a novel information analysis technology for biological interpretation of these data. Various target cells and molecules that could lead to the prevention and treatment of individual diseases have been obtained, and are expected to be applied to clinical development and disease prevention and treatment in the future.

研究分野：複合領域

キーワード：免疫 遺伝子 情報工学 モデル化 病理学

### 1. 研究開始当初の背景

急速に高齢化が進行する我が国の社会を持続可能なものとするためには、慢性炎症を基盤とする生活習慣病、線維症、がんなどを予防し、また一度発症しても早期に診断・介入する健康維持システムの構築が喫緊の課題である。従来の予防医学では、疫学および生化学、細胞生物学に基づき危険因子を推測し、健康リスクを低減するアプローチに主眼が置かれてきた。これらのアプローチは、疾患の発症における多数の危険因子の存在、例えば自然環境、社会環境、労働環境などの外的環境因子や、生活習慣などで変化する内的環境因子を詳らかにし、時として疾患の克服をもたらした。また、ヒトゲノムプロジェクトに端を発したゲノム疫学の進歩は、ゲノム点変異などの遺伝要因が疾患に関与することを示す一方で、多くの難治性疾患の発症には遺伝要因以外の外的・内的環境因子が大きな影響を与えること、すなわち可塑性があるが故に予防可能であることも明らかにした。しかしながら、日常生活から全ての危険環境因子を排除することは至難であることから、予防医学における現実的な課題は、疾患の生物学的な発症機序を理解した上で、リスクを重み付けし、またバックアップとして疾患を早期に診断し、介入する手段の確立が必要である。

時間軸で慢性炎症性疾患の進展を考えた場合、個体に対する内的・外的環境ストレスは、免疫系や内分泌系などを介する生体防御機構としての炎症を惹起する。炎症が持続または繰り返すことで、自覚症状を伴わない組織病変(未病状態)を経て、細胞・組織に機能障害を伴う異常な適応状態が定着し(炎症記憶)この慢性炎症状態が持続すると、線維化などにより臓器の機能異常が不可逆化し、糖尿病、脳・血管障害、慢性腎臓病や肝臓疾患などの生活習慣病に至る。このような疾患の形成過程を組織・臓器レベルで考えると、個々の細胞の変質に加え、細胞種(組織構成細胞と浸潤免疫細胞)や活性状態の異なるヘテロな細胞間の相互作用の変質、低酸素状態、非生理的な代謝応答、細胞外基質・液性因子ネットワークの変質が起きていると考えらる。生体組織は、呼吸、消化機能などを目的として機能の異なる細胞間の相互作用に基づき維持されている。これは、性別、年齢、職業や能力などが異なる個々の人間から構成され、流動性を持つ個人間の繋がりがや、一定のルールを基礎にして成り立つ人間社会に見立てることができる。

従来の免疫学的・病理学的アプローチに基づく炎症研究アプローチは、組織全体もしくは数百～数万個の細胞からなる細胞集団における質的、量的変化を平均化して捉えるものであり、未病状態、すなわち局所的にごく一部の細胞に異常が生じ、その異常が周辺細胞にも影響を及ぼすことで生じる“炎症細胞社会”の変容や、その複雑な動作原理を解明することは困難であった。一方、次世代 DNA シーケンス技術の急速な発展に伴い、2015 年前後から数千から数万個の単位で個々の細胞の遺伝子発現プロファイルを取得する single-cell (sc)RNA-seq の技術開発が進み、疾患研究にも応用されるようになった。研究開始当時、本研究領域代表者らも、世界最高レベルの遺伝子検出感度を持つ独自のマイクロデバイスを用いた scRNA-seq 技術を開発しており、これを疾患研究に応用することで、未病状態におけるごく少数の異常細胞の捕捉、炎症組織を構成する個々の細胞が持つ性質と役割の解明に加え、情報科学との融合により、多数の細胞間相互作用モデルの構築が可能と考えた。

### 2. 研究の目的

本研究領域では、領域代表者らが開発した独自の scRNA-seq を基盤技術として、臨床医学、炎症学、免疫学、病理学、分子生物学、生化学、環境医学、社会予防医学、合成生物学などの生命科学と、計算生物学、数理社会学、社会科学などの情報科学を統合した、“予防を科学する炎症細胞社会学”を創成に取り組んだ。

### 3. 研究の方法

総括班のもとに、scRNA-seq および種々の omics 解析、情報解析、遺伝子組換え動物作製を支援する炎症細胞社会解析センターを設置し、各計画研究、公募研究を支援した。領域代表者らが持つ細胞調製技術と独自の scRNA-seq 技術(Nx-1seq および TAS-seq)を領域共通の基盤技術とすることで、臓器横断的なデータ比較を可能とする疾患 scRNA-seq データベースを構築した。また、scRNA-seq 解析で各班のモデル解析を支援する際は、実験計画の段階から支援対象班、scRNA-seq を用いたモデル解析に習熟した wet 研究者、および情報解析チームが参加する web ミーティングを設け、研究成果の最大化を図った。scRNA-seq 技術を共通基盤技術として、以下に設定する 3 研究項目間で高度な連携を保ちつつ研究を展開した。

A01「慢性炎症性疾患における炎症細胞社会の確立」では、臓器、病因の異なる慢性炎症性疾患モデルにおいて、時間、空間情報を含む scRNA-seq データなどを収集し、炎症細胞社会における疾患の起点、未病状態、遷延化、不可逆化(線維化)を定義した。また、領域内で見いだされた治療標的や、モデルを検証した。A02「環境因子による炎症細胞社会の制御と分子標的予防法の確立」では、環境ストレス、遺伝要因、シアストレス、低酸素ストレス、老化などの生理的要因と慢性炎症・生活習慣病との連関を解明し、炎症細胞社会を制御するための分子標的を探索した。

A03「炎症細胞社会情報学の確立」では、scRNA-seq データなどの情報解析や、性質の異なる情報の統合などの新たな手法の開発、慢性炎症性疾患のシミュレーションモデル構築をはかった。

#### 4. 研究成果

##### **A01：慢性炎症性疾患における炎症細胞社会の確立（計画4班、公募前期9班・公募後期7班）**

**肺線維症における炎症細胞社会（松島班）**：既存技術を大きく上回る感度、正確性を持つ新規 scRNA-seq 解析法 TAS-Seq を開発し、既存技術では捉えられなかった、肺の恒常性維持に重要な細胞間相互作用を同定できることを見出した（PCT/JP2020/027123, Shichino et al Commun Biol 2022）。本手法を用い、シリカ誘導肺線維症の進行に伴い Lyve1<sup>lo</sup> MHC II<sup>hi</sup> 間質マクロファージ (IM)が増加すること、IMの集積はCCR2非依存的単球の動員と局所での増殖によること、C1qがIM特異的分子であることを見出した。細胞間相互作用解析により、IMは線維芽細胞・肺胞上皮細胞とC1qを介して相互作用しており、C1q KOマウスではシリカ誘導肺線維症が顕著に抑制された。正常マウスへのC1q気管内投与は線維化を誘導し、scRNA-seq解析により、線維芽細胞・肺胞上皮細胞を標的としていることを見出された。*in vitro*においてC1qで刺激した線維芽細胞では、線維化マーカーの発現上昇、Wnt-beta catenin経路の活性化を認めた。また、リウマチ関連ヒト間質性肺炎において、マウスC1q<sup>+</sup>IMのカウンターパートとして、SELENOP陽性マクロファージを同定した(Ogawa et al. BBRC 2022)。炎症細胞社会の変遷をモデル化する新たな手法として、経時的scRNA seqデータにおける各細胞の存在頻度をもとにテンポラルネットワークモデルを構築した。ハブ細胞の変遷をPageRank等の指標により評価したところ、炎症初期ではLy6C<sup>hi</sup>単球と線維芽細胞・血管内皮細胞の寄与が大きく、炎症～線維化期では間質マクロファージ・線維芽細胞・肺胞マクロファージ・血管内皮細胞の関与が強いことが示唆された。さらにそれらのプロセスを介する分子として同定したANGPTL4が線維化の増悪に寄与することをKOマウス等の解析により見出した。今後、当該モデルにより示唆された他の介入候補分子についても検証を進める予定である。

**肝硬変における炎症細胞社会の解明（金子班）**：NASHの末病状態を反映する単純性脂肪肝(HFD)より進展したNASH病態を反映する動脈硬化高脂肪食(Ath+HFD)、コリン欠乏アミノ酸置換(CDAA)食で誘導するNASHモデルのscRNAseq解析から炎症・線維化進展の鍵となる細胞集団を同定し、新たな診断マーカーの開発や肝硬変への進行を阻止する治療法の実現を行うことを目的とした。HFDモデルでは門脈領域周囲zone1の遺伝子発現を有する肝細胞集団のクラスターが出現、類洞内皮の変化が顕著であり、類洞内皮細胞の脱落と中心静脈の遺伝子発現を有する細胞集団の増加を認め、肝細胞のmetabolic zonationの変化が類洞内皮の障害を誘導し、NASH病態の炎症・線維化のトリガーとなっている可能性が示唆された。また、HFDにより類洞内皮細胞クラスターと星細胞クラスターの相互作用の増加傾向を認めた。さらに肝類洞内皮で高発現し、星細胞との相互作用に関わるGene Xを同定し、Gene Xが病態の進行に伴い発現低下すること、ヒト肝硬変症例の類洞内皮細胞でも発現低下することが確認された類洞内皮特異的Gene X KOマウスでは胆管結紮モデル、四塩化炭素モデル及びCDAA食餌負荷モデルにおいて肝線維化の顕著な増悪を認め、一方精製Gene X蛋白の持続投与により顕著な肝機能の改善(AST/ALT)と線維化改善を認めた。本研究により、肝細胞や類洞内皮のzonationの変化がNASHのトリガーとなること、類洞内皮細胞に発現するGene Xが線維化進行を抑制する治療標的分子として有用である事も示された。線維化診断マーカーとしてのGene Xの有用性を示唆するデータも得ており、現在、Gene Xの血清中でのELISA測定系を確立中である。

**進行性腎障害における慢性炎症の意義とそれに立脚した分子予防学の構築（和田班）**：MRSA誘発性腎障害モデルにおいて、末病状態においても各種炎症細胞の腎内集積と遺伝子発現変化を認め、また腎臓では報告がないマクロファージサブセットを同定した。現在マウスモデルにおいて、同細胞集団の機能解析などを進めるとともに、ヒト腎生検標本の免疫染色により同様の細胞集団を同定し、臨床データとの相関解析を進めている。MRSAの遺伝子情報と臨床病態の関連を解析し、接着・バイオフィーム関連の遺伝子領域に変異を持つ株は、有意に血流感染症を増加させること(Int J Infect Dis. 2020, 特願 2015-056620)、その遺伝子発現の制御物質は、新規の感染予防薬となり得ること(BBRC 2021)、抗MRSA薬のダプトマイシン耐性に関する遺伝子学的評価(Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 2017)、市中感染株の薬剤耐性と遺伝子変異の関与(J Infect Chemother.2020)などを報告した。また、糖尿病の発症に伴う腸内細菌の腎臓移行を模倣した腸管上皮脆弱性モデルを作成した。同モデルでは、侵入細菌の増加、血中IL-17増加を背景に腎障害が増悪し、抗IL-17中和抗体の投与により腎障害が軽減したことより、腸内細菌の体内移行に引き続き慢性炎症も新たな治療標的として有用である可能性を示した。さらに、腸内細菌によって産生されるD-アラニンが腎尿管細胞の障害を軽減することを見出し、腎腸連関を介した新たな腎疾患に対する治療薬創出の基礎的知見を見出した(Am J Physiol Renal Physiol 2022)。

**炎症細胞社会における臓器脂質の量的質的変容がもたらす炎症と線維化の機序と予防戦略（島野班）**：2型糖尿病の発症過程における健常から末病状態、糖尿病発症へ進展する際の膵島構成細胞の変化を明らかにするために、モデルマウス膵島のscRNA-seq解析を行った。糖尿病マウスの細胞は病態の進行に伴い9種類のクラスターに分類され、擬時間解析により、糖尿病の進

行に伴い変化する複数のパスウェイを見出した。また、糖尿病発症初期の細胞で特異的に発現が増加する遺伝子 X を同定し、腫瘍化マウス胚細胞株 MIN6 における遺伝子 X がグルコース応答性インスリン分泌を抑制することを見出した。これらの知見は、2 型糖尿病の発症機序の解明や治療法開発に寄与すると期待される。動脈硬化モデルマウスと脂質代謝関連転写因子 CREBH の過剰発現または KO マウスの交配系統の解析から、CREBH が脂質代謝を改善し、動脈硬化をも改善する新たな治療標的となりえることを明らかにした。肝臓特異的 CREBH Tg マウスでは著明な成長不良を示し、血中成長ホルモン値は異常高値を、血中 IGF1 値は異常低値を示し、明らかな成長ホルモン抵抗性、低栄養状態にあった。CREBH は食べていても栄養飢餓状態を模倣した環境を作り出し、個体の成長を遅延させることを新たに見出した。脂質代謝制御に中心的な役割を担う転写因子 SREBP-1 を活性化する新規プロテアーゼとして、RHBDL4 (R4)/Rhbdd1 を見出した。R4 は ER 膜上で SREBP-1 と共局在、相互作用し、ゴルジ体への移行を介さず SREBP-1 を切断、活性化する新規 SREBP-1 活性化経路を明らかにした。R4-SREBP-1 経路は、脂肪酸種により制御されていることなど、新たな R4-SREBP-1 経路による脂質代謝制御機構を提唱することができた。

**公募研究：**腸管炎症・再生・発がんの炎症細胞社会解析を進め、CD81<sup>hi</sup>Sca1 幹細胞由来細胞が損傷腸の主たる再生起点細胞であること(樗木班)、Dectin-1 を介する腸内細菌叢を制御・Treg 誘導抑制経路、低分子 グルカンや抗 IL-17F による腸管炎症や他の臓器の炎症抑制を明らかにした(岩倉班)。心筋梗塞に関わる心臓マクロファージ・単球の scRNA-seq 解析により従来以上の多様性を見いだすとともに、新規に同定した lncRNA (lncFAO) が炎症活性化から収束への移行期のマクロファージに発現し、脂肪酸代謝を活性化することによって機能的なスイッチとして働くことを明らかにした(眞鍋班)。また、小林班は肺線維症の scRNA-seq 解析から、アミノ酸トランスポーター SLC15A3 を介する肺線維化における炎症細胞社会制御メカニズムの解析を進め、治療戦略を見いだしている。

#### **A02：環境因子による炎症細胞社会の制御と分子標的予法の確立(計画3班、公募前期7班・後期7班)**

**炎症細胞社会の中での RNF213 変異によるかく乱と血管閉塞性病変形成の解明(小泉班)：**血管閉塞に関わる RNF213 シグナル系を解析し、RNF213 が AAA+ドメイン依存的に、NFκB/Apoptosis 経路を正に制御することを発見した。また、もやもや病患者で同定されている RING ドメイン内変異の多くが RING 依存性ユビキチンリガーゼ活性を減弱させ、上記 NFκB/Apoptosis 経路を亢進させることを見出し、RNF213 の変異が当該経路の制御を破綻させることにより、血管閉塞を引き起こすことが示唆された。RNF213 欠損細胞などの解析から、RNF213 が小胞体ストレスを抑制しており、RNF213 欠乏が小胞体関連分解(ERAD)の key molecule である SEL1L の上昇につながることを明らかにし、SEL1L が RNF213 欠乏による小胞体ストレス抑制の主たるメディエーターであることを明らかにし、RNF213 の新たな機能として、SEL1L-HRD1 複合体の増加による ERAD 促進を介して、小胞体ストレスを抑制することを明らかにした。RNF213 KO および R4810K ノックイン(KI)マウス由来 MEF では細胞分裂期の異常、分裂期細胞でのアクチンファイバーストレスを認め、また分裂期移行に中心的な役割を果たすマスターキナーゼ CDC2 のリン酸化状態の異常が起きているからも分裂期移行の障害が示唆された。

**ケミカルバイオロジーを用いた炎症性疾患に対する分子標的予防研究(酒井班)：**In vitro における細胞老化誘導系において分泌される IL-6 を測定する SASP 評価系を構築し、天然化合物ライブラリーを対象とした新規 SASP 阻害物質のスクリーニングを実施し、延命草に含まれるオリドニンに NF-κB や p38 を介する SASP 阻害活性を認め、詳細を報告した。並行して、自動分注機を用いた大規模スクリーニング系を構築し、新たな SASP 阻害物質の候補を取得しており、引き続き SASP 阻害活性の確認と、その機序の解明を進めている。また、機序不明の SASP 阻害物質である methyl caffeate の結合タンパク質の精製と同定を進め、分子 X に SASP 阻害との関連が示唆される結果を得ており、これらの成果を報告していく予定である。SASP を起こした細胞を攻撃・排除する活性化 NK 細胞を誘導することで SASP を阻害する物質を探索した。天然物エキスと認可済み薬剤のスクリーニングから NK 細胞を活性化する転写因子 T-bet の転写活性化を誘導する候補天然物を同定、リード化合物を取得し、さらに天然物エキスにおいては成分解析による候補化合物の同定を行った。また認可済み薬剤ライブラリーからヒットした 2 種類の化合物について、NK 細胞活性化機序の解析と *in vivo* における薬効の検証を行った。また、Immunomodulatory drugs (IMiDs) の T-bet 発現亢進作用、ならびに NK 細胞に対する免疫調節作用の機序について明らかにした。SASP を抑制する NF-κB 阻害作用を有する天然物由来化合物を多数同定し、これらの *in vivo* における転移抑制作用について明らかにした。

**環境ストレスによる生体応答、エピゲノムとプロテオーム解析(大迫班)：**親電子性物質 ACR による神経毒性に、NLRP3 経路を介するミクログリアの活性化と炎症性サイトカイン誘導が関与することが示唆された。1,2-ジクロロプロパン誘導性胆管がん発症機序として胆管細胞(MMINK-1)の増殖、マクロファージによる DNA 損傷、ROS 産生増加を明らかにした。ACR 誘導神経障害実験では、ACR による大脳皮質における Nrf2 および抗酸化タンパクの誘導促進、スルフォラ

ファンによる Nrf2 シグナル経路活性化が酸化ストレスと炎症を抑制し、ACR 毒性からの保護作用を示すことを明らかにした。また、Nrf2KO マウスにおいてミクログリア領域と突起長増大、ノルアドレナリンおよびセロトニン神経線維密度低下を認めた。Ahr KO マウスの新たな表現型として雄の無精子症を認め、以前より報告されていた繁殖率の低さの原因であることを明らかにした。また、本研究の遂行過程で、Ahr KO マウスを SPF 施設で繁殖していたところ、すべての個体に軟便・下血・脱肛、脾臓と腸間膜リンパ節の肥大、大腸の肥厚と粘膜固有層の著しい炎症性細胞浸潤を認め、いずれの組織でも CD4<sup>+</sup> IL17<sup>+</sup> IFN $\gamma$  Th17 細胞が著しく増加しており、一方 Treg には差はなかった。複数の先行研究において Ahr KO CD4<sup>+</sup> T 細胞が in vitro で Th17 分化障害を呈することが報告されており、Ahr が Th17 分化に必須であると考えられてきたが、生体内での Ahr 関連代謝異常が関わる Th17 誘導、自己免疫性大腸炎では異なる機序が働く事が明らかになった。

**公募研究：**脂質代謝のボトルネック酵素である PLA<sub>2</sub> ならびに下流の脂質代謝酵素、脂質受容体の欠損マウスを総合展開することで、PLA2G3, FP, EP4, PLA2G4E などによる表皮起源の免疫応答制御と皮膚から全身へ進展するアレルギーマーチの発症機序を明らかにし、また線維芽細胞の LPA<sub>1</sub> 受容体などが関わる新たな組織マスト細胞成熟・機能制御経路を複数同定した（村上班）。NASH モデルマウスを用いて正常肝から NAFL を経て NASH に進展する各段階の炎症細胞社会の時間的变化と空間的变化、閉経後 NASH あるいは急性肝障害における炎症細胞社会の変化を明らかにした（小川班）。様々な臓器・組織における老化細胞の scRNA-seq 解析から、自然加齢における細胞種ごとに異なる特徴的な老化遺伝子発現プロファイルを明らかにした。GLS1 阻害剤が実際に生体内における老化細胞の除去に有効であること、その結果として様々な老化症状の改善や加齢関連疾患に有効であることも示すことができた（城村班）。

### **A03：炎症細胞社会情報学の確立（計画1班、公募前2班・公募後期2班）**

**単一細胞シーケンスデータに基づく細胞社会学のための情報手法の開発とデータ解析（池尾班）：**炎症記憶の形成過程を細胞や分子レベルでの細胞間相互作用として解明を目指し、数千～万個の細胞からなる炎症組織の構成細胞について、定性的・定量的情報を「細胞状態変数」として収集蓄積、統合するために必要な手法の開発とそれを用いた実際のデータ解析を進めた。1) コンテナ技術を導入する事により各種シングルセル解析パイプラインを遺伝研スパコン上で利用可能とし、従来比 10 倍以上の性能改善をおこなった。この性能改善を受けて、全ゲノムリファレンス配列を用いたマッピングを実用化し、ノンコーディング RNA などを含む解析を可能とした。これは、今後のデータの増大に大いに役立つとともに将来の全ゲノム配列に対する解析をも可能とする大事な進歩である。また、これらの解析はパイプライン化され、今後、さまざまなプロジェクトで簡便に使用することが可能である。単一細胞データポータル(データ収集・解析・公開用サーバー、2023 年 4 月以降公開予定)を構築し、異なる組織から得た正常・炎症過程の細胞の scRNA-seq データを領域内研究グループから収集し、統一したデータへの変換と統一パラメータ・手法による解析を行い、その全てのデータをダウンロード・表示できる形でまとめている。新規 scRNA-seq データ解析手法として、個々の細胞の体細胞変異パターンを用いて、既知の知識と矛盾のない細胞系譜を推定できることがわかった。この結果は擬似時間解析の結果と整合性があるだけでなく、擬似時間解析の結果のみからでは推定できない細胞軌道の方向性についての情報も含んでいる。私たちはこの方法を Realtime Course Analysis と名付け、特許出願準備中である。従来の細胞種推定のための機械学習アプローチを見直す事により、少ない束縛条件（少数細胞の発現データから）でも、遺伝子の相互作用や共発現に関する有用な情報を抽出するための数学的手法の開発を行い成功した。細胞が状況に応じて RNA の様々な部位に PolyA-tail を付加する選択的ポリアデニル化(APA)に着目し、ポリアデニル化破綻を推定する手法を開発し、APA 破綻遺伝子リストのエンリッチ解析から疾患関連遺伝子抽出を可能とした。

**公募研究：**遺伝子を点、発現量の強い相関関係がある遺伝子対を辺に対応させる遺伝子相関ネットワーク解析手法、遺伝子相関ネットワーク上のランキング手法として、正負の重みの辺を同時に用いた手法を提案し、肺線維症マウスの解析結果から、既知疾患関連重要遺伝子のいくつかのランキング上位に実際に現れることを確認した。また、PCA と deviation net を組み合わせた深層学習を用いて、発病前の細胞と炎症初期段階の細胞とを分類する手法も提案した（浅野班）。生体イメージングと scRNA-seq データを解析することで、炎症刺激により生じる細胞動態と遺伝子発現の変動を解析できる手法を開発した。現状では、生体イメージングと scRNA-seq 解析で、各細胞を 1 対 1 で対応付けることはまだできていないが、細胞集団を時系列上で整列することで、細胞集団レベルでの対応付けが可能な段階まで到達できていると考えられる（松田班）。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計275件（うち査読付論文 275件 / うち国際共著 10件 / うちオープンアクセス 136件）

1. 著者名 Ogawa T, Shichino S, Ueha S, Bando K, Matsushima K.	4. 巻 599
2. 論文標題 Profibrotic properties of C1q+ interstitial macrophages in silica-induced pulmonary fibrosis in mice.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 113-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2022.02.037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Ogawa T, Shichino S, Ueha S, Ogawa S, Matsushima K.	4. 巻 603
2. 論文標題 Complement protein C1q activates lung fibroblasts and exacerbates silica-induced pulmonary fibrosis in mice.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 88-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2022.02.090	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Aoki H, Shichino S, Matsushima K, Ueha S.	4. 巻 13
2. 論文標題 Revealing Clonal Responses of Tumor-Reactive T-Cells Through T Cell Receptor Repertoire Analysis.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Front Immunol.	6. 最初と最後の頁 807696-807696
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2022.807696	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Tsunoda M, Aoki H, Shimizu H, Shichino S, Matsushima K, Ueha S.	4. 巻 12
2. 論文標題 Proportional Tumor Infiltration of T Cells <i>via</i> Circulation Duplicates the T Cell Receptor Repertoire in a Bilateral Tumor Mouse Model.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Immunol.	6. 最初と最後の頁 744381-744381
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2021.744381	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa T, Shichino S, Ueha S, Matsushima K.	4. 巻 33
2. 論文標題 Macrophages in lung fibrosis.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int Immunol.	6. 最初と最後の頁 665-671
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxab040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aoki H, Ueha S, Nakamura Y, Shichino S, Nakajima H, Shimomura M, Sato A, Nakatsura T, Yoshino T, Matsushima K.	4. 巻 112
2. 論文標題 Greater extent of blood-tumor TCR repertoire overlap is associated with favorable clinical responses to PD-1 blockade.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 2993-3004
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14975	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chen CY, Ueha S, Ishiwata Y, Shichino S, Yokochi S, Yang D, Oppenheim JJ, Ogiwara H, Deshimaru S, Kanno Y, Aoki H, Ogawa T, Shibayama S, Matsushima K.	4. 巻 9
2. 論文標題 Combining an alarmin HMG1 peptide with PD-L1 blockade results in robust antitumor effects with a concomitant increase of stem-like/progenitor exhausted CD8+ T cells.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Immunol Res.	6. 最初と最後の頁 1214-1228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2326-6066.CIR-21-0265	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aoki H, Ueha S, Shichino S, Ogiwara H, Shitara K, Shimomura M, Suzuki T, Nakatsura T, Yamashita M, Kitano S, Kuroda S, Wakabayashi M, Kurachi M, Ito S, Doi T, Matsushima K.	4. 巻 9
2. 論文標題 Transient depletion of CD4+ cells induces drastic remodeling of the repertoire of T-cell receptors in gastrointestinal cancer.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Immunol Res.	6. 最初と最後の頁 624-636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2326-6066.CIR-20-0989	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwata Y, Sakai N, Yoneda I, Senda Y, Sakai-Takemori Y, Oshima M, Nakagawa-Yoneda S, Ogura H, Sato K, Minami T, Kitajima S, Toyama T, Yamamura Y, Miyagawa T, Hara A, Shimizu M, Furuichi K, Matsushima K, Wada T.	4. 巻 537
2. 論文標題 D-Serine inhibits the attachment and biofilm formation of methicillin-resistant Staphylococcus aureus.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 50-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.12.078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwata Y, Sakai N, Yoneda I, Senda Y, Sakai-Takemori Y, Oshima M, Nakagawa-Yoneda S, Ogura H, Sato K, Minami T, Kitajima S, Toyama T, Yamamura Y, Miyagawa T, Hara A, Shimizu M, Furuichi K, Matsushima K, Wada T.	4. 巻 537
2. 論文標題 D-Serine inhibits the attachment and biofilm formation of methicillin-resistant Staphylococcus aureus.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 50-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.12.078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Linh HT, Iwata Y, Senda Y, Sakai-Takemori Y, Nakade Y, Oshima M, Nakagawa-Yoneda S, Ogura H, Sato K, Minami T, Kitajima S, Toyama T, Yamamura Y, Miyagawa T, Hara A, Shimizu M, Furuichi K, Sakai N, Yamada H, Asanuma K, Matsushima K, Wada T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Intestinal Bacterial Translocation Contributes to Diabetic Kidney Disease.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Am Soc Nephrol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1681/ASN.2021060843	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takemori-Sakai Y, Satou K, Senda Y, Nakamura Y, Otani H, Maekawa A, Oe H, Oshima M, Yoneda-Nakagawa S, Miyagawa T, Sato K, Ogura H, Mori M, Wada T, Sakai Y, Yutani M, Matsumura T, Fujinaga Y, Gabata T, Wada T, Iwata Y.	4. 巻 28
2. 論文標題 Rare toxin A-negative and toxin B-positive strain of Clostridioides difficile from Japan lacking a complete tcdA gene.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Infect Chemother.	6. 最初と最後の頁 651-656
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2022.01.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Iwata Y, Nakade Y, Kitajima S, Yoneda-Nakagawa S, Oshima M, Sakai N, Ogura H, Sato K, Toyama T, Yamamura Y, Miyagawa T, Yamazaki H, Hara A, Shimizu M, Furuichi K, Mita M, Hamase K, Tanaka T, Nishida M, Muramatsu W, Yamamoto H, Shichino S, Ueha S, Matsushima K, Wada T.	4. 巻 322
2. 論文標題 Protective Effect of D-Alanine Against Acute Kidney Injury.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Am J Physiol Renal Physiol.	6. 最初と最後の頁 F667-F679
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/ajprenal.00198.2021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okajima Yuka, Matsuzaka Takashi, Miyazaki Shun, Motomura Kaori, Ohno Hiroshi, Sharma Rahul, Shimura Takuya, Istiqamah Nurani, Han Song-lee, .....i, Takeuchi Yoshinori, Sekiya Motohiro, Yahagi Naoya, Nakagawa Yoshimi, Tomita Tsutomu, Shimano Hitoshi	4. 巻 1868
2. 論文標題 Morphological and functional adaptation of pancreatic islet blood vessels to insulin resistance is impaired in diabetic db/db mice	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biochimica et Biophysica Acta (BBA) - Molecular Basis of Disease	6. 最初と最後の頁 166339 ~ 166339
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbadis.2022.166339	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa Yoshimi, Kumagai Kae, Han Song lee, Mizunoe Yuhei, Araki Masaya, Mizuno Seiya, Ohno Hiroshi, Matsuo Kazuya, Yamada Yasunari, Kim Jun dal, Miyamoto Takafumi, Sekiya Motohiro, Konishi Morichika, Itoh Nobuyuki, Matsuzaka Takashi, Takahashi Satoru, Sone Hirohito, Shimano Hitoshi	4. 巻 35
2. 論文標題 Starvation induced transcription factor CREBH negatively governs body growth by controlling GH signaling	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The FASEB Journal	6. 最初と最後の頁 e21663-e21663
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.202002784RR	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ekuban Frederick Adams, Zong Cai, Takikawa Madoka, Morikawa Kota, Sakurai Toshihiro, Ichihara Sahoko, Itoh Ken, Yamamoto Masayuki, Ohsako Seiichiroh, Ichihara Gaku	4. 巻 456
2. 論文標題 Genetic ablation of Nrf2 exacerbates neurotoxic effects of acrylamide in mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Toxicology	6. 最初と最後の頁 152785 ~ 152785
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tox.2021.152785	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Davuljigari Chand Basha, Ekuban Frederick Adams, Zong Cai, Fergany Alzahraa A. M., Morikawa Kota, Ichihara Gaku	4. 巻 22
2. 論文標題 Nrf2 Activation Attenuates Acrylamide-Induced Neuropathy in Mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 5995 ~ 5995
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms22115995	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ekuban Abigail, Zong Cai, Ekuban Frederick Adams, Kimura Yusuke, Takizawa Ryoya, Morikawa Kota, Kinoshita Kazuo, Ichihara Sahoko, Ohsako Seiichiroh, Ichihara Gaku	4. 巻 9
2. 論文標題 Role of Macrophages in Cytotoxicity, Reactive Oxygen Species Production and DNA Damage in 1,2-Dichloropropane-Exposed Human Cholangiocytes In Vitro	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Toxics	6. 最初と最後の頁 128 ~ 128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/toxics9060128	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takizawa Ryoya, Ichihara Sahoko, Zong Cai, Kinoshita Kazuo, Sakurai Toshihiro, Ikegami Akihiko, Mise Nathan, Ichihara Gaku	4. 巻 349
2. 論文標題 1,2-Dichloropropane induces -H2AX expression in human cholangiocytes only in the presence of macrophages	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Toxicology Letters	6. 最初と最後の頁 134 ~ 144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.toxlet.2021.06.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kamatani Takashi, Hagizawa Hiroki, Yarimitsu Seido, Morioka Miho, Koyamatsu Saeko, Sugimoto Michihiko, Kodama Joe, Yamane Junko, Ishiguro Hiroyuki, Shichino Shigeyuki, Abe Kuniya, Fujibuchi Wataru, Fujie Hiromichi, Kaito Takashi, Tsumaki Noriyuki	4. 巻 284
2. 論文標題 Human iPS cell-derived cartilaginous tissue spatially and functionally replaces nucleus pulposus	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biomaterials	6. 最初と最後の頁 121491 ~ 121491
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biomaterials.2022.121491	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Liu Yajing, Yamane Junko, Tanaka Akito, Fujibuchi Wataru, Yamashita Jun K.	4. 巻 24
2. 論文標題 AMPK activation reverts mouse epiblast stem cells to naive state	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 102783 ~ 102783
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102783	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ihara M, Yamamoto Y, Hattori Y, Liu W, Kobayashi H, Ishiyama H, Yoshimoto T, Miyawaki S, Clausen T, Bang OY, Steinberg GK, Tournier-Lasserre E, Koizumi A.	4. 巻 -
2. 論文標題 Moyamoya disease: diagnosis and interventions.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Lancet Neurology.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ahmed Sharif, Habu Toshiyuki, Kim Jiyeong, Okuda Hiroko, Oikawa Shinji, Murata Mariko, Koizumi Akio, Kobayashi Hatasu	4. 巻 609
2. 論文標題 Suppression of RNF213, a susceptibility gene for moyamoya disease, inhibits endoplasmic reticulum stress through SEL1L upregulation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 62 ~ 68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2022.04.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuda Shusuke, Horinaka Mano, Iizumi Yosuke, Goi Wakana, Sukeno Mamiko, Sakai Toshiyuki	4. 巻 590
2. 論文標題 Oridonin inhibits SASP by blocking p38 and NF- B pathways in senescent cells	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 55 ~ 62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2021.12.098	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Asano Yasuhito, Ogawa Tatsuro, Shichino Shigeyuki, Ueha Satoshi, Matsushima Koji, Ogura Atsushi	4. 巻 -
2. 論文標題 Time-Series Analysis of Gene Correlation Networks based on Single-Cell Transcriptome Data	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 2021 IEEE International Conference on Bioinformatics and Biomedicine (BIBM)	6. 最初と最後の頁 2134-2141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/BIBM52615.2021.9669412	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taketomi Yoshitaka, Endo Yuki, Higashi Takayoshi, Murase Remi, Ono Tomio, Taya Choji, Kobayashi Tetsuyuki, Murakami Makoto	4. 巻 10
2. 論文標題 Mast Cell-Specific Deletion of Group III Secreted Phospholipase A2 Impairs Mast Cell Maturation and Functions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cells	6. 最初と最後の頁 1691 ~ 1691
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cells10071691	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miki Yoshimi, Taketomi Yoshitaka, Kidoguchi Yuh, Yamamoto Kei, Muramatsu Kazuaki, Nishito Yasumasa, Park Jonguk, Hosomi Koji, Mizuguchi Kenji, Kunisawa Jun, Soga Tomoyoshi, Boillard Eric, B. Gowda Siddabasave Gowda, Ikeda Kazutaka, Arita Makoto, Murakami Makoto	4. 巻 7
2. 論文標題 Group IIA secreted phospholipase A2 controls skin carcinogenesis and psoriasis by shaping the gut microbiota	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 e152611-e152611
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.152611	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kudo Kai, Miki Yoshimi, Carreras Joaquim, Nakayama Shunya, Nakamoto Yasushi, Ito Masatoshi, Nagashima Etsuko, Yamamoto Kei, Higuchi Hiroshi, Morita Shin-ya, Inoue Asuka, Aoki Junken, Ando Kiyoshi, Nakamura Naoya, Murakami Makoto, Kotani Ai	4. 巻 34
2. 論文標題 Secreted phospholipase A2 modifies extracellular vesicles and accelerates B cell lymphoma	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cell Metabolism	6. 最初と最後の頁 615 ~ 633.e8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cmet.2022.02.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Liang Luyiyun, Takamiya Rina, Miki Yoshimi, Heike Kanako, Taketomi Yoshitaka, Sugimoto Nao, Yamaguchi Midori, Shitara Hiroshi, Nishito Yasumasa, Kobayashi Tetsuyuki, Hirabayashi Tetsuya, Murakami Makoto	4. 巻 36
2. 論文標題 Group IVE cytosolic phospholipase A2 limits psoriatic inflammation by mobilizing the anti-inflammatory lipid N acylethanolamine.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The FASEB Journal	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.202101958R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshioka Naoki, Tanaka Miyako, Ochi Kozue, Watanabe Akiko, Ono Kenji, Sawada Makoto, Ogi Tomoo, Itoh Michiko, Ito Ayaka, Shiraki Yukihiro, Enomoto Atsushi, Ishigami Masatoshi, Fujishiro Mitsuhiro, Ogawa Yoshihiro, Suganami Takayoshi	4. 巻 140
2. 論文標題 The sodium-glucose cotransporter-2 inhibitor Tofogliflozin prevents the progression of nonalcoholic steatohepatitis-associated liver tumors in a novel murine model	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biomedicine & Pharmacotherapy	6. 最初と最後の頁 111738 ~ 111738
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biopha.2021.111738	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Azusa, Ito Ayaka, Shirakawa Ibuki, Tamura Atsushi, Tomono Susumu, Shindou Hideo, Hedde Per Niklas, Tanaka Miyako, Tsuboi Naotake, Ishimoto Takuji, Akashi-Takamura Sachiko, Maruyama Shoichi, Suganami Takayoshi	4. 巻 12
2. 論文標題 Dietary Supplementation With Eicosapentaenoic Acid Inhibits Plasma Cell Differentiation and Attenuates Lupus Autoimmunity	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 650856-650856
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2021.650856	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kurita Kento, Ohta Hiroya, Shirakawa Ibuki, Tanaka Miyako, Kitaura Yasuyuki, Iwasaki Yorihiro, Matsuzaka Takashi, Shimano Hitoshi, Aoe Seiichiro, Arima Hiroshi, Ogawa Yoshihiro, Ito Ayaka, Suganami Takayoshi	4. 巻 11
2. 論文標題 Macrophages rely on extracellular serine to suppress aberrant cytokine production	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 11137-11137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-90086-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hachiya Rumi, Tanaka Miyako, Itoh Michiko, Suganami Takayoshi	4. 巻 42
2. 論文標題 Molecular mechanism of crosstalk between immune and metabolic systems in metabolic syndrome	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Inflammation and Regeneration	6. 最初と最後の頁 13-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41232-022-00198-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue Takashi, Omori-Miyake Miyuki, Maruyama Saho, Okabe Masataka, Kuwahara Makoto, Honda Hiroaki, Miura Hiromasa, Yamashita Masakatsu	4. 巻 207
2. 論文標題 The Loss of H3K27 Histone Demethylase Utx in T Cells Aggravates Allergic Contact Dermatitis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Immunology	6. 最初と最後の頁 2223 ~ 2234
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.2001160	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Konishi Amane, Suzuki Junpei, Kuwahara Makoto, Matsumoto Akira, Nomura Shunsuke, Soga Tomoyoshi, Yorozuya Toshihiro, Yamashita Masakatsu	4. 巻 588
2. 論文標題 Glucocorticoid imprints a low glucose metabolism onto CD8 T cells and induces the persistent suppression of the immune response	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 34 ~ 40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2021.12.050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuzawa Ryo, Koike Hiroyuki, Manabe Ichiro, Oishi Yumiko	4. 巻 12
2. 論文標題 VDR regulates simulated microgravity-induced atrophy in C2C12 myotubes	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1377-1377
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-05354-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Liu Lin, Koike Hiroyuki, Ono Takehito, Hayashi Shinichiro, Kudo Fujimi, Kaneda Atsushi, Kagechika Hiroyuki, Manabe Ichiro, Nakashima Tomoki, Oishi Yumiko	4. 巻 118
2. 論文標題 Identification of a KLF5-dependent program and drug development for skeletal muscle atrophy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 e2102895118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2102895118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuwano Akifumi, Kurokawa Miho, Kohjima Motoyuki, Imoto Koji, Tashiro Shigeki, Suzuki Hideo, Tanaka Masatake, Okada Seiji, Kato Masaki, Ogawa Yoshihiro	4. 巻 21
2. 論文標題 Microcirculatory disturbance in acute liver injury	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Experimental and Therapeutic Medicine	6. 最初と最後の頁 596-596
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/etm.2021.10028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tashiro Shigeki, Tanaka Masatake, Goya Takeshi, Aoyagi Tomomi, Kurokawa Miho, Imoto Koji, Kuwano Akifumi, Takahashi Motoi, Suzuki Hideo, Kohjima Motoyuki, Kato Masaki, Ogawa Yoshihiro	4. 巻 434
2. 論文標題 Pirfenidone attenuates acetaminophen-induced liver injury via suppressing c-Jun N-terminal kinase phosphorylation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Toxicology and Applied Pharmacology	6. 最初と最後の頁 115817 ~ 115817
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.taap.2021.115817	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Goya Takeshi, Kurashige Tomoyuki, Kurokawa Miho, Tanaka Masatake, Aoyagi Tomomi, Takahashi Motoi, Imoto Koji, Tashiro Shigeki, Suzuki Hideo, Kato Masaki, Kohjima Motoyuki, Ogawa Yoshihiro	4. 巻 13
2. 論文標題 The Combination of Nucleotide Analog Therapy and Steroid Pulse Therapy for Acute HBV Infection Effectively Promotes HBV Clearance	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Gastroenterology Insights	6. 最初と最後の頁 1 ~ 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/gastroent13010001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Goya Takeshi, Imoto Koji, Tashiro Shigeki, Aoyagi Tomomi, Takahashi Motoi, Kurokawa Miho, Suzuki Hideo, Tanaka Masatake, Kato Masaki, Kohjima Motoyuki, Ogawa Yoshihiro	4. 巻 13
2. 論文標題 The Efficacy of Tofogliflozin on Metabolic Dysfunction-Associated Fatty Liver Disease	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Gastroenterology Insights	6. 最初と最後の頁 20~26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/gastroent13010003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Imoto Koji, Tanaka Masatake, Goya Takeshi, Aoyagi Tomomi, Takahashi Motoi, Kurokawa Miho, Tashiro Shigeki, Kato Masaki, Kohjima Motoyuki, Ogawa Yoshihiro	4. 巻 22
2. 論文標題 Corticosteroid suppresses urea-cycle-related gene expressions in ornithine transcarbamylase deficiency	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMC Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 144-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12876-022-02213-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sekiya T, Kasahara H, Takemura R, Fujita S, Kato J, Doki N, Katayama Y, Ozawa Y, Takada S, Eto T, Fukuda T, Ichinohe T, Takanashi M, Onizuka M, Atsuta Y, Okamoto S, Yoshimura A, Takaki S, Mori T.	4. 巻 208
2. 論文標題 Essential Roles of the Transcription Factor NR4A1 in Regulatory T Cell Differentiation under the Influence of Immunosuppressants.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Immunol.	6. 最初と最後の頁 2122-2130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.2100808	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sekiya Takashi	4. 巻 13
2. 論文標題 Comparison Between Nr4a Transcription Factor Regulation and Function in Lymphoid and Tumor Treg Cells	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2022.866339	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Han Wei, Tang Ce, Baba Seiya, Hamada Tomofumi, Shimazu Tomoyuki, Iwakura Yoichiro	4. 巻 206
2. 論文標題 Ovalbumin-Induced Airway Inflammation Is Ameliorated in Dectin-1?Deficient Mice, in Which Pulmonary Regulatory T Cells Are Expanded through Modification of Intestinal Commensal Bacteria	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Immunology	6. 最初と最後の頁 1991 ~ 2000
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.2001337	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaifu Tomonori, Yabe Rikio, Maruhashi Takumi, Chung Soo-Hyun, Tateno Hiroaki, Fujikado Noriyuki, Hirabayashi Jun, Iwakura Yoichiro	4. 巻 218
2. 論文標題 DCIR and its ligand asialo-biantennary N-glycan regulate DC function and osteoclastogenesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 e20210435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20210435	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chung Soo-Hyun, Ye Xiao-Qi, Iwakura Yoichiro	4. 巻 33
2. 論文標題 Interleukin-17 family members in health and disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 723 ~ 729
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxab075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murayama Masanori A., Chi Hsi-Hua, Matsuoka Mako, Ono Takahiro, Iwakura Yoichiro	4. 巻 12
2. 論文標題 The CTRP3-AdipoR2 Axis Regulates the Development of Experimental Autoimmune Encephalomyelitis by Suppressing Th17 Cell Differentiation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 607346-607346
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2021.607346	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 MAKUSHEVA Yulia, CHUNG Soo-Hyun, AKITSU Aoi, MAEDA Natsumi, MARUHASHI Takumi, YE Xiao-Qi, KAIFU Tomonori, SAIJO Shinobu, SUN Haiyang, HAN Wei, TANG Ce, IWAKURA Yoichiro	4. 巻 -
2. 論文標題 The C-type lectin receptor Clec1A plays an important role in the development of experimental autoimmune encephalomyelitis by enhancing antigen presenting ability of dendritic cells and inducing inflammatory cytokine IL-17	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Experimental Animals	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1538/expanim.21-0191	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujiu Katsuhito, Manabe Ichiro	4. 巻 34
2. 論文標題 Nerve-macrophage interactions in cardiovascular disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 81 ~ 95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxab036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugita Junichi, Fujiu Katsuhito, Nakayama Yukiteru, Matsubara Takumi, Matsuda Jun, Oshima Tsukasa, Liu Yuxiang, Maru Yujin, Hasumi Eriko, Kojima Toshiya, Seno Hiroshi, Asano Keisuke, Ishijima Ayumu, Tomii Naoki, Yamazaki Masatoshi, Kudo Fujimi, Sakuma Ichiro, Nagai Ryoza, Manabe Ichiro, Komuro Issei	4. 巻 12
2. 論文標題 Cardiac macrophages prevent sudden death during heart stress	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 1910-1910
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-22178-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Liu Lin, Koike Hiroyuki, Ono Takehito, Hayashi Shinichiro, Kudo Fujimi, Kaneda Atsushi, Kagechika Hiroyuki, Manabe Ichiro, Nakashima Tomoki, Oishi Yumiko	4. 巻 118
2. 論文標題 Identification of a KLF5-dependent program and drug development for skeletal muscle atrophy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 e2102895118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2102895118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Kosho, Graduate School of Information Science and Technology, Osaka University, Suita, Osaka, Japan, Matsuda Hideo	4. 巻 11
2. 論文標題 Detecting Lineage-Specific Marker Genes for Tumor Evolution Based on Single Cell Transcriptome	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Bioscience, Biochemistry and Bioinformatics	6. 最初と最後の頁 50 ~ 57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17706/ijbbb.2021.11.3.50-57	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujimoto Kenji, Mizugaki Tsubasa, Rajkumar Utkrisht, Shigeta Hironori, Seno Shigeto, Uchida Yutaka, Ishii Masaru, Bafna Vineet, Matsuda Hideo	4. 巻 35
2. 論文標題 A CNN-based cell tracking method for multi-slice intravital imaging data	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the 12th ACM Conference on Bioinformatics, Computational Biology, and Health Informatics	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3459930.3469559	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Kosho, Matsuda Hideo	4. 巻 -
2. 論文標題 A Method for Detection of Markers for Epithelial-Mesenchymal Transition based on Single Cell Transcriptomic Data	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Proceedings of 12th International Conference on Bioscience, Biochemistry and Bioinformatics	6. 最初と最後の頁 57-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3510427.3510436	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Kosho, Matsuda Hideo	4. 巻 27
2. 論文標題 Detection of Biomarkers for Epithelial-Mesenchymal Transition with Single-Cell Trajectory Inference	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Bioscience-Landmark	6. 最初と最後の頁 127 ~ 127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31083/j.fb12704127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashiuchi Emi, Watanabe Hitoshi, Kimura Kumi, Matsumoto Michihiro, Inoue Hiroshi, Inaba Yuka	4. 巻 12
2. 論文標題 Diet intake control is indispensable for the gluconeogenic response to sodium?glucose cotransporter 2 inhibition in male mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 35 ~ 47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13319	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Koutarou, Sakai Seiichiro, Tsuyama Jun, Nakamura Akari, Otani Kento, Kurabayashi Kumiko, Yogiashi Yoshiko, Masai Hisao, Shichita Takashi	4. 巻 19
2. 論文標題 Extracellular DJ-1 induces sterile inflammation in the ischemic brain	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS Biology	6. 最初と最後の頁 e3000939
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.3000939	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kamatani Takashi, Hagizawa Hiroki, Yarimitsu Seido, Morioka Miho, Koyamatsu Saeko, Sugimoto Michihiko, Kodama Joe, Yamane Junko, Ishiguro Hiroyuki, Shichino Shigeyuki, Abe Kuniya, Fujibuchi Wataru, Fujie Hiromichi, Kaito Takashi, Tsumaki Noriyuki	4. 巻 284
2. 論文標題 Human iPS cell-derived cartilaginous tissue spatially and functionally replaces nucleus pulposus	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biomaterials	6. 最初と最後の頁 121491 ~ 121491
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biomaterials.2022.121491	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwata Yasunori, Nakade Yusuke, Kitajima Shinji, Yoneda-Nakagawa Shiori, Oshima Megumi, Sakai Norihiko, Ogura Hisayuki, Sato Koichi, Toyama Tadashi, Yamamura Yuta, . . . . ., Tanaka Tomohiro, Nishida Motohiro, Muramatsu Wataru, Yamamoto Hisashi, Shichino Shigeyuki, Ueha Satoshi, Matsushima Kouji, Wada Takashi	4. 巻 322
2. 論文標題 Protective effect of <scp>d</scp>-alanine against acute kidney injury	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 American Journal of Physiology-Renal Physiology	6. 最初と最後の頁 F667 ~ F679
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/ajprenal.00198.2021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shichino S, Ueha S, Hashimoto S, Ogawa T, Aoki H, Wu B, Chen CY, Kitabatake M, O uji-Sageshima N, Sawabata N, Kawaguchi T, Okayama T, Sugihara E, Hontsu S, Ito T, Iwata Y, Wada T, Ikeo K, Sato T, Matsushima K.	4. 巻 -
2. 論文標題 TAS-Seq is a robust and sensitive amplification method for bead-based scRNA-seq.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Communications Biology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki N, Johmura Y, Wang TW, Migita T, Wu W, Noguchi R, Yamaguchi K, Furukawa Y, Nakamura S, Miyoshi I, Yoshimori T, Ohta T, Nakanishi M.	4. 巻 -
2. 論文標題 TP53/p53-FBX022-TFEB controls basal autophagy to govern hormesis.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Autophagy.	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15548627.2021.1897961.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Johmura Y, Yamanaka T, Omori S, Wang TW, Sugiura Y, Matsumoto M, Suzuki N, Kumamoto S, Yamaguchi K, Hatakeyama S, Takami T, Yamaguchi R, Shimizu E, Ikeda K, Okahashi N, Mikawa R, Suematsu M, Arita M, Sugimoto M, Nakayama KI, Furukawa Y, Imoto S, Nakanishi M.	4. 巻 371
2. 論文標題 Senolysis by glutaminolysis inhibition ameliorates various age-associated disorders.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Science.	6. 最初と最後の頁 265-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.abb5916.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Omori S, Wang TW, Johmura Y, Kanai T, Nakano Y, Kido T, Susaki EA, Nakajima T, Shichino S, Ueha S, Ozawa M, Yokote K, Kumamoto S, Nishiyama A, ....., Iwasaki K, Miyoshi C, Funato H, Yanagisawa M, Ueno H, Imoto S, Furukawa Y, Yoshida N, Matsushima K, Ueda HR, Miyajima A, Nakanishi M.	4. 巻 32
2. 論文標題 Generation of a p16 Reporter Mouse and Its Use to Characterize and Target p16high Cells In Vivo.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Metab.	6. 最初と最後の頁 814-828
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cmet.2020.09.006.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugita J, Fujiu K, Nakayama Y, Matsubara T, Matsuda J, Oshima T, Liu Y, Maru Y, Hasumi E, Kojima T, Seno H, Asano K, Ishijima A, Tomii N, Yamazaki M, Kudo F, Sakuma I, Nagai R, Manabe I, Komuro I.	4. 巻 12
2. 論文標題 Cardiac macrophages prevent sudden death during heart stress.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nat Commun.	6. 最初と最後の頁 1910-1910
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-22178-0.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama Y, Fujiu K, Yuki R, Oishi Y, Morioka MS, Isagawa T, Matsuda J, Oshima T, Matsubara T, Sugita J, Kudo F, Kaneda A, Endo Y, Nakayama T, Nagai R, Komuro I, Manabe I.	4. 巻 117
2. 論文標題 A long noncoding RNA regulates inflammation resolution by mouse macrophages through fatty acid oxidation activation.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci USA.	6. 最初と最後の頁 14365-14375
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2005924117.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oishi Y, Manabe I.	4. 巻 7
2. 論文標題 Organ System Crosstalk in Cardiometabolic Disease in the Age of Multimorbidity.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Cardiovasc Med.	6. 最初と最後の頁 64-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcvm.2020.00064.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yulia Panina, Peter Karagiannis, Andreas Kurtz, Glyn N. Stacey, Wataru Fujibuchi.	4. 巻 52
2. 論文標題 Human Cell Atlas and cell-type authentication for regenerative medicine.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Exp Mol Med.	6. 最初と最後の頁 1443-1451
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s12276-020-0421-1.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang X, Morikawa K, Mori Y, Zong C, Zhang L, Garner E, Huang C, Wu W, Chang J, Nagashima D, Sakurai T, Ichihara S, Oikawa S, Ichihara G.	4. 巻 94
2. 論文標題 Proteomic analysis of liver proteins of mice exposed to 1,2-dichloropropane.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Arch Toxicol.	6. 最初と最後の頁 2691-2705
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00204-020-02785-4.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kanamori Y, Tanaka M, Itoh M, Ochi K, Ito A, Hidaka I, Sakaida I, Ogawa Y, Suganami T.	4. 巻 24
2. 論文標題 Iron-rich Kupffer cells exhibit phenotypic changes during the development of liver fibrosis in NASH.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 iScience.	6. 最初と最後の頁 102032-102032
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2020.102032.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka M, Saka-Tanaka M, Ochi K, Fujieda K, Sugiura Y, Miyamoto T, Kohda H, Ito A, Miyazawa T, Matsumoto A, Aoe S, Miyamoto Y, Tsuboi N, Maruyama S, Suematsu M, Yamasaki S, Ogawa Y, Suganami T.	4. 巻 217
2. 論文標題 C-type lectin Mincle mediates cell death-triggered inflammation in acute kidney injury.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Exp Med.	6. 最初と最後の頁 e20192230
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20192230.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato T, Sase M, Ishikawa S, Kajita M, Asano J, Sato T, Mori Y, Ohteki T.	4. 巻 10
2. 論文標題 Characterization of radioresistant epithelial stem cell heterogeneity in the damaged mouse intestine.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 8308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-64987-1.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsue M, Ogura K, Sugiyama H, Miyoshi-Akiyama T, Takemori-Sakai Y, Iwata Y, Wada T, Okamoto S.	4. 巻 11
2. 論文標題 Pathogenicity Characterization of Prevalent-Type Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis Strains.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Microbiol.	6. 最初と最後の頁 97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.00097.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwata Y, Sakai N, Yoneda I, Satou K, Furuichi K, Senda Y, Sakai-Takemori Y, Wada T, Fujita S, Ogura H, . . . . ., Miyagawa T, Hara A, Shimizu M, Sakai Y, Ikeo K, Shichino S, Ueha S, Nakajima T, Matsushima K, Wada T.	4. 巻 26
2. 論文標題 The increased frequency of methicillin-resistant Staphylococcus aureus with low MIC of beta-lactam antibiotics isolated from hospitalized patients.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Infect Chemother.	6. 最初と最後の頁 604-610
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jiac.2020.01.016.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwata Y, Sakai N, Yoneda I, Senda Y, Sakai-Takemori Y, Oshima M, Nakagawa-Yoneda S, Ogura H, Sato K, Minami T, Kitajima S, Toyama T, Yamamura Y, Miyagawa T, Hara A, Shimizu M, Furuichi K, Matsushima K, Wada T.	4. 巻 537
2. 論文標題 D-Serine inhibits the attachment and biofilm formation of methicillin-resistant Staphylococcus aureus.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 50-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.12.078.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuzaka T, Kuba M, Koyasu S, Yamamoto Y, Motomura K, Arulmozhiraja S, Ohno H, Sharma R, Shimura T, Okajima Y, Han SI, . . . . ., Suzuki H, Sone H, Takeuchi Y, Yahagi N, Miyamoto T, Sekiya M, Nakagawa Y, Ema M, Takahashi S, Tokiwa H, Shimano H.	4. 巻 71
2. 論文標題 Hepatocyte ELOVL Fatty Acid Elongase 6 Determines Ceramide Acyl-Chain Length and Hepatic Insulin Sensitivity in Mice.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Hepatology.	6. 最初と最後の頁 1609-1625
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hep.30953.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Nakagawa Y, Wang Y, Han SI, Okuda K, Oishi A, Yagishita Y, Kumagai K, Ohno H, Osaki Y, Mizunoe Y, Araki M, Murayama Y, Iwasaki H, Konishi M, Itoh N, Matsuzaka T, Sone H, Yamada N, Shimano H.	4. 巻 11
2. 論文標題 Enterohepatic Transcription Factor CREB3L3 Protects Atherosclerosis via SREBP Competitive Inhibition.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Mol Gastroenterol Hepatol.	6. 最初と最後の頁 949-971
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcmgh.2020.11.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satoh A, Han SI, Araki M, Nakagawa Y, Ohno H, Mizunoe Y, Kumagai K, Murayama Y, Osaki Y, Iwasaki H, Sekiya M, Konishi M, Itoh N, Matsuzaka T, Sone H, Shimano H.	4. 巻 23
2. 論文標題 CREBH Improves Diet-Induced Obesity, Insulin Resistance, and Metabolic Disturbances by FGF21-Dependent and FGF21-Independent Mechanisms.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 iScience.	6. 最初と最後の頁 100930-100930
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2020.100930.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Sekiya, Shizuko Kagawa, Katsunori Masaki, Koichi Fukunaga, Akihiko Yoshimura, Satoshi Takaki .	4. 巻 24
2. 論文標題 Regulation of peripheral Th/Treg differentiation and suppression of airway inflammation by Nr4a transcription factors.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 iScience.	6. 最初と最後の頁 102166-102166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102166.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takata N, Ishii K, Takayama H, Nagashimada M, Kamoshita K, Tanaka T, Kikuchi A, Takeshita Y, Matsumoto Y, Ota T, Yamamoto Y, SYamagoe S, Seki A, Sakai Y, Kaneko S, Takamura T.	4. 巻 11
2. 論文標題 LECT2 as a hepatokine links liver steatosis to inflammation via activating tissue macrophages in NASH.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 555-555
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-80689-0.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Boku S, Watanabe M, Sukeno M, Yaoi T, Hirota K, Iizuka-Ohashi M, Itoh K, Sakai T.	4. 巻 12
2. 論文標題 Deactivation of Glutaminolysis Sensitizes PIK3CA-Mutated Colorectal Cancer Cells to Aspirin-Induced Growth Inhibition.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancers.	6. 最初と最後の頁 1097-1097
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers12051097.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto Y, Katsumi Y, Iehara T, Kaneda D, Tomoyasu C, Ouchi K, Yoshida H, Miyachi M, Yagyu S, Kikuchi K, Tsuchiya K, Kuwahara Y, Sakai T, Hosoi H.	4. 巻 19
2. 論文標題 The Novel Histone Deacetylase Inhibitor, OBP-801, Induces Apoptosis in Rhabdoid Tumors by Releasing the Silencing of NOXA.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mol Cancer Ther.	6. 最初と最後の頁 1992-2000
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1535-7163.MCT-20-0243.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Umemura S, Sowa Y, Iizumi Y, Kitawaki J, Sakai T.	4. 巻 111
2. 論文標題 Synergistic effect of the inhibitors of RAF/MEK and AXL on KRAS-mutated ovarian cancer cells with high AXL expression.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 2052-2061
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14414.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mutoh M, Yoshimura K, Fujii G, Nakamura T, Takeshita T, Wakabayashi K, Sakai T, Ishikawa H.	4. 巻 12
2. 論文標題 Very Long-Term Treatment with a Lactobacillus Probiotic Preparation, Lactobacillus casei Strain Shirota, Suppresses Weight Loss in the Elderly.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nutrients.	6. 最初と最後の頁 1599-1599
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu12061599.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa H, Mutoh M, Sato Y, Doyama H, Tajika M, Tanaka S, Horimatsu T, Takeuchi Y, Kashida H, Tashiro J, Ezoe Y, Nakajima T, Ikematsu H, Hori S, Suzuki S, Otani T, Takayama T, Ohda Y, Mure K, Wakabayashi K, Sakai T.	4. 巻 6
2. 論文標題 Chemoprevention with low-dose aspirin, mesalazine, or both in patients with familial adenomatous polyposis without previous colectomy (J-FAPP Study IV): a multicentre, double-blind, randomised, two-by-two factorial design trial.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Lancet Gastroenterol Hepatol.	6. 最初と最後の頁 474-481
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/s2468-1253(21)00018-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hamoya T, Fujii G, Iizumi Y, Narita T, Komiya M, Matsuzawa Y, Miki K, Kondo T, Kishimoto S, Watanabe K, Wakabayashi K, Sakai T, Toshima J, Mutoh M.	4. 巻 42
2. 論文標題 Artesunate inhibits intestinal tumorigenesis through inhibiting wnt signaling	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Carcinogenesis.	6. 最初と最後の頁 148-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/carcin/bgaa084.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taniguchi K, Kageyama S, Moyama C, Ando S, Ii H, Ashihara E, Horinaka M, Sakai T, Kubota S, Kawauchi A, Nakata S.	4. 巻 -
2. 論文標題 -Glutamylcyclotransferase, a novel regulator of HIF-1 expression, triggers aerobic glycolysis.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Gene Ther.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41417-020-00287-0.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe M, Yamada Y, Kurumida Y, Kameda T, Sukeno M, Iizuka-Ohashi M, Sowa Y, Iizumi Y, Takakura H, Miyamoto S, Sakai T, Mutoh M.	4. 巻 13
2. 論文標題 Rabdosianone I, a Bitter Diterpene from an Oriental Herb, Suppresses Thymidylate Synthase Expression by Directly Binding to ANT2 and PHB2	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancers.	6. 最初と最後の頁 982-982
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers13050982.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ucche S, Murwanti R, Ritmaleni, Hayakawa Y.	4. 巻 3
2. 論文標題 Anti-Metastatic Effects of Curcumin Analogues in a Mouse Breast Cancer Model.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BPB Reports.	6. 最初と最後の頁 76-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpbreports.3.2_76.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyazato K, Hayakawa Y.	4. 巻 111
2. 論文標題 Pharmacological targeting of natural killer cells for cancer immunotherapy.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 1869-1875
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14418.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyazato K, Tahara H, Hayakawa Y.	4. 巻 111
2. 論文標題 Antimetastatic effects of thalidomide by inducing the functional maturation of peripheral natural killer cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 2770-2778
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14538.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hardianti B, Umeyama L, Li F, Yokoyama S, Hayakawa Y.	4. 巻 22
2. 論文標題 Anti-inflammatory compounds moracin O and P from Morus alba Linn. (Sohakuhi) target the NF- B pathway.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mol Med Rep.	6. 最初と最後の頁 5385-5391
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/mmr.2020.11615.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Umeyama L, Kasahara S, Sugawara M, Yokoyama S, Saiki I, Hayakawa Y.	4. 巻 8
2. 論文標題 Anti-inflammatory effect of fermented brown rice and rice bran with <i>Aspergillus oryzae</i> on mice.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Traditional & Kampo Medicine.	6. 最初と最後の頁 60-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tkm2.1270.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Susmitha Gorrepotu D, Miyazato K, Ogura K, Yokoyama S, Hayakawa Y.	4. 巻 43
2. 論文標題 Anti-metastatic Effects of Baicalein by Targeting STAT3 Activity in Breast Cancer Cells.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biol Pharm Bull.	6. 最初と最後の頁 1899-1905
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b20-00571.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujiwara T, Miyazato K, Takahashi K, Hayakawa Y.	4. 巻 491
2. 論文標題 Establishment of bioluminescent imaging model using murine T cell lymphoma susceptible to NK cell-dependent immune-surveillance.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Immunol Methods.	6. 最初と最後の頁 112993-112993
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jim.2021.112993.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y. Iwata, K. Satou, K. Furuichi, I. Yoneda T. Matsumura, . . . . ., S. Ueha, T. Nakajima, K. Matsushima, S. Kaneko, T. Wada.	4. 巻 91
2. 論文標題 Collagen adhesion gene is associated with bloodstream infections caused by methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> .	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Infect Dis.	6. 最初と最後の頁 22-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijid.2019.11.003.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aoki H, Ueha S, Shichino S, Ogiwara H, Shitara K, Shimomura M, Suzuki T, Nakatsura T, Yamashita M, Kitano S, Kuroda S, Wakabayashi M, Kurachi M, Ito S, Doi T, Matsushima K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Transient Depletion of CD4 + Cells Induces Remodeling of the TCR Repertoire in Gastrointestinal Cancer.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Immunol Res.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2326-6066.CIR-20-0989.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujimoto, K., Seno, S., Shigeta, H., Mashita, T., Ishii, M., Matsuda, H.	4. 巻 10
2. 論文標題 Tracking and Analysis of Fucci-Labeled Cells Based on Particle Filters and Time-to-Event Analysis.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Biosci Biochem Bioinforma.	6. 最初と最後の頁 94-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17706/ijbbb.2020.10.2.94-109.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yagi Y, Kuwahara M, Suzuki J, Imai Y and Yamashita M.	4. 巻 530
2. 論文標題 Glycolysis and subsequent mevalonate biosynthesis play an important role in Th2 cell differentiation.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun.	6. 最初と最後の頁 355-361
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.08.009.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toriyama K, Kuwahara M, Kondoh H, Mikawa T, Takemori N, Konishi A, Yorozuya T, Yamada T, Soga T, Shiraishi A, Yamashita M.	4. 巻 3
2. 論文標題 T cell-specific deletion of Pgam1 reveals a critical role for glycolysis in T cell responses.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Commun Biol.	6. 最初と最後の頁 394-394
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-01122-w.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hironori Ito, Yasuhito Asano.	4. 巻 103-D
2. 論文標題 Composition Proposal Generation for Manga Creation Support.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IEICE Trans. Inf. Syst.	6. 最初と最後の頁 949-957
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Habu T, Harada K	4. 巻 3
2. 論文標題 UBC13 is an RNF213-associated E2 ubiquitin-conjugating enzyme, and Lysine 63-linked ubiquitination by the RNF213/UBC13 axis is responsible for angiogenic activity.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 FASEB Bioadv.	6. 最初と最後の頁 243-258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fba.2019-00092	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hatasu Kobayashi, Kouji H. Harada, Toshiyuki Habu, Yasuhisa Nakamura, Jiyeong Kim, Akio Koizumi.	4. 巻 -
2. 論文標題 RNF213 as a Susceptibility Gene for Moyamoya Disease has Multifunctional Roles in Biological Processes.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Moyamoya Disease: Current Knowledge and Future Perspectives.	6. 最初と最後の頁 47-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-33-6404-2_4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeta Hironori, Seno Shigeto, Nishizawa Shino, Uchida Yutaka, Kikuta Junichi, Ishii Masaru, Matsuda Hideo	4. 巻 19243594
2. 論文標題 Analyzing Leukocyte Migration Trajectories by Deformable Image Matching	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IEEE Xplore	6. 最初と最後の頁 94-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/BIBE.2019.00025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Osato N, Shigeta H, Seno S, Uchida Y, Kikuta J, Ishii M, Matsuda H.	4. 巻 19351527
2. 論文標題 Single-cell transcriptome analysis of mouse leukocytes in inflammatory stimulation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IEEE Xplore	6. 最初と最後の頁 1229-1231
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/BIBM47256.2019.8983394	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takai J, Ohtsu H, Sato A, Uemura S, Fujimura T, Yamamoto M, Moriguchi T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Lipopolysaccharide-induced expansion of histidine decarboxylase-expressing Ly6G+ myeloid cells identified by exploiting histidine decarboxylase BAC-GFP transgenic mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 15603
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-51716-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiratori, K., Kanemaru, K., Ogura, T., Nakajima, A., Sugizaki, Y., Fukuyama, T., Iwakura, Y., Nakamura, Y., and Fukami, K.	4. 巻 511
2. 論文標題 Epidermal loss of phospholipase C 1 attenuates irritant contact dermatitis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochem. Biophys. Res. Commun.	6. 最初と最後の頁 330-335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.02.046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita, N., Ishida, N., Ibi, M., Saito, M., Takahashi, M., Taniguchi, S., Iwakura, Y., Morino, Y., Taira, E., Sawa, Y., and Hirose, M.	4. 巻 42
2. 論文標題 IL-1 plays an important role in pressure overload-induced atrial fibrillation in mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biol. Pharm. Bull.	6. 最初と最後の頁 543-546
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b18-00363	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Schwartz, C., Moran, T., Saunders, S. P., Kaszlikowska, A., Floudas, A., Bom, J., Nunez, G., Iwakura, Y., O'Neill, L., Irvine, A. D., McKenzie, A. N. J., Ogg, G., Walsh, P. T., Demengeot, J., and Fallon, P. G.	4. 巻 74
2. 論文標題 Spontaneous atopic dermatitis in mice with a defective skin barrier is independent of ILC2 and mediated by IL-1 .	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 1920-1933
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.13801.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tang, C., Makusheva, Y., Sun, H., Han, W., and Iwakura, Y.	4. 巻 106
2. 論文標題 Myeloid C-type lectin receptors in skin/mucoepithelial diseases and tumors.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Leukoc. Biol.	6. 最初と最後の頁 903-917
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/JLB.2R10119-031R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lau, L., Porciuncula, A., Yu, A., Iwakura, Y., and David, G.	4. 巻 39
2. 論文標題 Uncoupling the senescence-associated secretory phenotype from cell cycle exit via IL-1 inactivation unveils its pro-tumorigenic role.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol. Cell Biol.	6. 最初と最後の頁 e00586-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/MCB.00586-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Byk, H., Huang, G. J., Iwakura, Y., and Yarom, Y.	4. 巻 13
2. 論文標題 Large scale calcium imaging of the cerebellar vermis during sensory stimulus unravels two response's components that differ in their spatiotemporal properties.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front. Syst. Neurosci.	6. 最初と最後の頁 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnsys.2019.00018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Drummond, R. A., Swamydas, M., Oikonomou, V., Zhai, B., Dambuza, I. M., Schaefer, B. C., Bohrer, A. C., Mayer-Barber, K. D., Lira, S. A., Iwakura, Y., Filler, S. G., Brown, G. D., Hube, B., Naglik, J. R., Hohl, T. M., and Lionakis, M. S.	4. 巻 20
2. 論文標題 CARD9+ microglia promote antifungal immunity via IL-1 - and CXCL1-mediated neutrophil recruitment.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Immunol.	6. 最初と最後の頁 559-570
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41590-019-0377-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyabe, C., Miyabe, Y., Moreno, L., Lian, J., Rahimi, R. A., Miura, N. N., Ohno, N., Iwakura, Y., Kawakami, T., and Luster, A. D.	4. 巻 130
2. 論文標題 Dectin-2-induced CCL2 production in tissue-resident macrophages ignites cardiac arteritis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Clin. Invest	6. 最初と最後の頁 3610-3624
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI123778	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Blanco-Perez, F., Kato, Y., Gonzalez-Menendez, I., Laino, J., Ohbayashi, M., Burggraf, M., Krause, M., Kirberg, J., Iwakura, Y., Martella, M., Quintanilla-Martinez, L., Shibata, N., Vieths, S., Scheurer, S., and Toda, M.	4. 巻 9
2. 論文標題 CCR8 leads to eosinophil migration and regulates neutrophil migration in murine allergic enteritis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 9608
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-45653-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hupa, K. J., Stein, K., Schneider, R., Lysson, M., Schneiker, B., Hornung, V., Latz, E., Iwakura, Y., Kalff, J. C., and Wehner, S.	4. 巻 9
2. 論文標題 AIM2 inflammasome-derived IL-1 induces postoperative ileus in mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 10602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-46968-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakurai, K., Dainichi, T., Garcet, S., Tsuchiya, S., Yamamoto, Y., Kitoh, A., Honda, T., Nomura, T., Egawa, G., Otsuka, A., Nakajima, S., Matsumoto, R., Nakano, Y., Otsuka, M., Iwakura, Y., Grinberg-Bleyer, Y., Ghosh, S., Sugimoto, Y., Guttman-Yassky, E., Krueger, J. G., and Kabashima, K.	4. 巻 144
2. 論文標題 Cutaneous p38 mitogen-activated protein kinase activation triggers psoriatic dermatitis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Allergy Clin. Immunol.	6. 最初と最後の頁 1036-1049
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2019.06.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanno, E., Tanno, H., Masaki, A., Sasaki, A., Sato, N., Goto, M., Shisai, M., Yamaguchi, K., Takagi, N., Shoji, M., Kitai, Y., Sato, K., Kasamatsu, J., Ishii, K., Miyasaka, T., Kawakami, K., Imai, Y., Iwakura, Y., Maruyama, R., Tachi, M., and Kawakami, K.	4. 巻 20
2. 論文標題 Defect of interferon leads to impaired wound healing through prolonged neutrophilic inflammatory response and enhanced MMP-2 activation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 nt. J. Mol. Sci.	6. 最初と最後の頁 5657
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms20225657	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sekiba K, Otsuka M, Ohno M, Yamagami M, Kishikawa T, Seimiya T, Suzuki T, Tanaka E, Ishibashi R, Funato K, and Koike K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Pevonedistat, a first-in-class NEDD8-activating enzyme inhibitor, is a potent inhibitor of hepatitis B virus.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Hepatology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hep.30491	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakagomi R, Tateishi R, Masuzaki R, Soroida Y, Iwai T, Kondo M, Fujiwara N, Sato M, Minami T, Uchino K, Enooku K, Nakagawa H, Asaoka Y, Kondo Y, Tanaka Y, Otsuka M, Kato N, Moriya K, Ikeda H, Koike K.	4. 巻 34
2. 論文標題 Liver stiffness measurements in chronic hepatitis C: treatment evaluation and risk assessment.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gastroenterol Hepatol.	6. 最初と最後の頁 921-928
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jgh.14530	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura K(co-first authors), Johmura Y (co-first authors), Deguchi K, Jiang Z, Uchida K, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura S, Kono K, Nakanishi M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Cdk1-mediated DIAPH1 phosphorylation maintains metaphase cortical tension and inactivates the spindle assembly checkpoint at anaphase.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-08957-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujiyama S, Nakahashi-Oda C, Abe F, Wang Y, Sato K, Shibuya A.	4. 巻 31
2. 論文標題 Identification and isolation of splenic tissue resident macrophage subpopulations by flow cytometry.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int Immunol.	6. 最初と最後の頁 51-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxy064	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanno M, Kawaguchi K, Honda M, Horii R, Takatori H, Shimakami T, Kitamura K, Arai K, Yamashita T, Sakai Y, Yamashita T, Mizukoshi E, Kaneko S.	4. 巻 54
2. 論文標題 Serum aldo-keto reductase family 1 member B10 predicts advanced liver fibrosis and fatal complications of nonalcoholic steatohepatitis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 549-557
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-019-01551-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Muller CP, Chu C, Qin L, Liu C, Xu B, Gao H, Ruggeri B, Hieber S, Schneider J, Jia T, Tay N, Akira S, Satoh T, Banaschewski T, Bokde ALW, Bromberg U, Buchel C, Quinlan EB, Flor H, Frouin V, Garavan H, Gowland P, Heinz A, Ittermann B, Martinot JL, Martinot MP, Artiges E, Lemaitre H, Nees F, ..., Schumann G.	4. 巻 29
2. 論文標題 The Cortical Neuroimmune Regulator TANK Affects Emotional Processing and Enhances Alcohol Drinking: A Translational Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 1736-1751
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy341	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naito H, Iba T, Wakabayashi T, Tai-Nagara I, Suehiro JI, Jia W, Eino D, Sakimoto S, Muramatsu F, Kidoya H, Sakurai H, Satoh T, Akira S, Kubota Y, Takakura N.	4. 巻 48
2. 論文標題 TAK1 Prevents Endothelial Apoptosis and Maintains Vascular Integrity.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dev Cell.	6. 最初と最後の頁 151-166.e7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.devcel.2018.12.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Brenner D, Sieverding K, Bruno C, Luningschror P, Buck E, Mungwa S, Fischer L, Brockmann SJ, Ulmer J, Bliedehauser C, Philibert CE, Satoh T, Akira S, Boillee S, Mayer B, Sendtner M, Ludolph AC, Danzer KM, Lobsiger CS, Freischmidt A, Weishaupt JH.	4. 巻 216
2. 論文標題 Heterozygous Tbk1 loss has opposing effects in early and late stages of ALS in mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Exp Med.	6. 最初と最後の頁 267-278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20180729	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kusakabe S, Suzuki T, Sugiyama Y, Haga S, Horike K, Tokunaga M, Hirano J, He Z, Chen DV, Ishiga H, Komoda Y, Ono C, Fukuhara T, Yamamoto M, Ikawa M, Satoh T, Akira S, Tanaka T, Moriishi K, Fukai M, Taketomi A, Yoshio S, Kanto T, Suzuki T, Okamoto T, Matsuura Y.	4. 巻 93
2. 論文標題 USP15 participates in HCV propagation through the regulation of viral RNA translation and lipid droplet formation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Virol.	6. 最初と最後の頁 e01708-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01708-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tabuchi Y, Hirohashi Y, Hashimoto S, Mariya T, Asano T, Ikeo K, Kuroda T, Mizuuchi M, Murai A, Uno S, Kawai N, Kubo T, Nakatsugawa M, Kanaseki T, Tsukahara T, Saito T, Torigoe T.	4. 巻 106
2. 論文標題 Clonal analysis revealed functional heterogeneity in cancer stem-like cell phenotypes in uterine endometrioid adenocarcinoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Exp Mol Pathol.	6. 最初と最後の頁 78-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yexmp.2018.11.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kazushige Shiraishi, Shigeyuki Shichino, Tatsuya Tsukui, Shinichi Hashimoto, Satoshi Ueha, and Kouji Matsushima.	4. 巻 9
2. 論文標題 Engraftment and proliferation potential of embryonic lung tissue cells in irradiated mice with emphysema.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 3657
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-40237-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chen CY, Ueha S, Ishiwata Y, Yokochi S, Yang D, Oppenheim JJ, Ogiwara H, Shichino S, Deshimaru S, Shand FH, Shibayama S, Matsushima K.	4. 巻 7
2. 論文標題 Combined treatment with HMG1 and anti-CD4 depleting antibody reverses T cell exhaustion and exerts robust anti-tumor effects in mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Immunother.	6. 最初と最後の頁 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40425-019-0503-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueno, K., Urai, M., Sadamoto, S., Shinozaki, M., Takatsuka, S., Abe, M., Otani, Y., Yanagihara, N., Shimizu, K., Iwakura, Y., Shibuya, K., Miyazaki, Y., and Kinjo, Y.	4. 巻 12
2. 論文標題 A dendritic cell-based systemic vaccine induces long-lived lung-resident memory Th17 cells and ameliorates pulmonary mycosis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mucosal Immunol.	6. 最初と最後の頁 265-276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0220989	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamada T, Nabe S, Toriyama K, Inoue K, Imai Y, Shiraishi A, Takenaka K, Yasukawa M, Yamashita M.	4. 巻 202
2. 論文標題 Histone H3K27 Demethylase Negatively Controls the Memory Formation of Antigen-Stimulated CD8+ T Cells.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Immunol.	6. 最初と最後の頁 1088-1098
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1801083	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Vranic S, Shimada Y, Ichihara S, Kimata M, Wu W, Tanaka T, Boland S, Tran L, Ichihara G.	4. 巻 20
2. 論文標題 Toxicological Evaluation of SiO <sub>2</sub> Nanoparticles by Zebrafish Embryo Toxicity Test.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci.	6. 最初と最後の頁 882
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms20040882	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamada N, Asano Y, Fujita M, Yamazaki S, Inanobe A, Matsuura N, Kobayashi H, Ohno S, Eban Y, Tsukamoto O, Ishino S, Takuwa A, Kioka H, Yamashita T, Hashimoto N, Zankov DP, Shimizu A, Asakura M, Asanuma H, Kato H, Nishida Y, Miyashita Y, Shinomiya H, Naiki N, Hayashi K, Makiyama T, Ogita H, Miura K, ..., Takashima S.	4. 巻 139
2. 論文標題 Mutant KCNJ3 and KCNJ5 Potassium Channels as Novel Molecular Targets in Bradyarrhythmias and Atrial Fibrillation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Circulation	6. 最初と最後の頁 2157-2169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/CIRCULATIONAHA.118.036761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koretsune Y, Kusakawa K, Harada KH, Koizumi A, Uchiyama S, Atarashi H, Okumura K, Yasaka M, Yamashita T, Taniguchi A, Fukaya T, Inoue H; for J-dabigatran surveillance and JAPAF study investigators.	4. 巻 8
2. 論文標題 Characteristics of Japanese Patients with Nonvalvular Atrial Fibrillation on Anticoagulant Treatment: A Descriptive Analysis of J-dabigatran Surveillance and JAPAF Study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cardiol Ther.	6. 最初と最後の頁 43-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s40119-019-0129-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okazaki S, Morimoto T, Kamatani Y, Kamimura T, Kobayashi H, Harada K, Tomita T, Higashiyama A, Takahashi JC, Nakagawara J, Koga M, Toyoda K, Washida K, Saito S, Takahashi A, Hirata M, Matsuda K, Mochizuki H, Chong M, Pare G, O'Donnell M, Ago T, Hata J, Ninomiya T, Dichgans M, ..., Kubo M, Koizumi A, Ihara M.	4. 巻 139
2. 論文標題 Moyamoya Disease Susceptibility Variant RNF213 p.R4810K Increases the Risk of Ischemic Stroke Attributable to Large-Artery Atherosclerosis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Circulation.	6. 最初と最後の頁 295-298
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/CIRCULATIONAHA.118.038439	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Y, Yahagi N, Takeuchi Y, Aita Y, Mehrzad Saber Z, Wada N, Li E, Piao X, Sawada Y, Shikama A, Masuda Y, Nishi-Tatsumi M, Kubota M, Izumida Y, Miyamoto T, Sekiya M, Matsuzaka T, Nakagawa Y, Sugano Y, Iwasaki H, Kobayashi K, Yatoh S, Suzuki H, Yagyu H, Kawakami Y, Shimano H.	4. 巻 593
2. 論文標題 Glucocorticoid receptor suppresses gene expression of Rev-erb (Nr1d1) through interaction with the CLOCK complex.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FEBS Lett.	6. 最初と最後の頁 423-432
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1873-3468.13328	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Wang Z, Adachi S, Kong L, Watanabe D, Nakanishi Y, Ohteki T, Hoshi N, Kodama Y.	4. 巻 511
2. 論文標題 Role of eosinophils in a murine model of inflammatory bowel disease.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 99-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.02.056	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Shichino S, Ueha S, Hashimoto S, Otsuji M, Abe J, Tsukui T, Deshimaru S, Nakajima T, Kosugi-Kanaya M, Shand FH, Inagaki Y, Shimano H, Matsushima K.	4. 巻 4
2. 論文標題 Transcriptome network analysis identifies protective role of the LXR-SREBP-1c axis in murine pulmonary fibrosis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 JCI Insight.	6. 最初と最後の頁 e122163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.122163.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Yamagami Mari, Otsuka Motoyuki, Kishikawa Takahiro, Sekiba Kazuma, Seimiya Takahiro, Tanaka Eri, Suzuki Tatsunori, Ishibashi Rei, Ohno Motoko, Koike Kazuhiko	4. 巻 4
2. 論文標題 ISGF3 with reduced phosphorylation is associated with constitutive expression of interferon-induced genes in aging cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 npj Aging and Mechanisms of Disease	6. 最初と最後の頁 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41514-018-0030-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Sekiba Kazuma, Otsuka Motoyuki, Ohno Motoko, Yamagami Mari, Kishikawa Takahiro, Suzuki Tatsunori, Ishibashi Rei, Seimiya Takahiro, Tanaka Eri, Koike Kazuhiko	4. 巻 7
2. 論文標題 Inhibition of HBV Transcription From cccDNA With Nitazoxanide by Targeting the HBx?DDB1 Interaction	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cellular and Molecular Gastroenterology and Hepatology	6. 最初と最後の頁 297 ~ 312
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcmgh.2018.10.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Seimiya Takahiro, Otsuka Motoyuki, Iwata Takuma, Tanaka Eri, Suzuki Tatsunori, Sekiba Kazuma, Yamagami Mari, Ishibashi Rei, Koike Kazuhiko	4. 巻 6
2. 論文標題 Inflammation and de-differentiation in pancreatic carcinogenesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 World Journal of Clinical Cases	6. 最初と最後の頁 882 ~ 891
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.12998/wjcc.v6.i15.882	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naito Hisamichi, Iba Tomohiro, Wakabayashi Taku, Tai-Nagara Ikue, Suehiro Jun-ichi, Jia Weizhen, Eino Daisuke, Sakimoto Susumu, Muramatsu Fumitaka, Kidoya Hiroyasu, Sakurai Hiroyuki, Satoh Takashi, Akira Shizuo, Kubota Yoshiaki, Takakura Nobuyuki	4. 巻 48
2. 論文標題 TAK1 Prevents Endothelial Apoptosis and Maintains Vascular Integrity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Developmental Cell	6. 最初と最後の頁 151 ~ 166.e7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.devcel.2018.12.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lee Seung-Jun, Lee Choong-kun, Kang Seok, Park Intae, Kim Yoo Hyung, Kim Seo Ki, Hong Seon Pyo, Bae Hosung, He Yulong, Kubota Yoshiaki, Koh Gou Young	4. 巻 128
2. 論文標題 Angiopoietin-2 exacerbates cardiac hypoxia and inflammation after myocardial infarction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Investigation	6. 最初と最後の頁 5018 ~ 5033
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI99659	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Si Sha, Nakajima-Takagi Yaeko, Iga Takahito, Tsuji Mayoko, Hou Libo, Oshima Motohiko, Koide Shuhei, Saraya Atsunori, Yamazaki Satoshi, Takubo Keiyo, Kubota Yoshiaki, Minamino Tohru, Iwama Atsushi	4. 巻 63
2. 論文標題 Hematopoietic insults damage bone marrow niche by activating p53 in vascular endothelial cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Experimental Hematology	6. 最初と最後の頁 41 ~ 51.e1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exphem.2018.04.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama Shogo, Yumimoto Kanae, Kawamura Atsuki, Nakayama Keiichi I.	4. 巻 293
2. 論文標題 Degradation of the endoplasmic reticulum?anchored transcription factor MyRF by the ubiquitin ligase SCFFbxw7in a manner dependent on the kinase GSK-3	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 5705 ~ 5714
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA117.000741	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Negoro Ryosuke, Takayama Kazuo, Kawai Kanae, Harada Kazuo, Sakurai Fuminori, Hirata Kazumasa, Mizuguchi Hiroyuki	4. 巻 11
2. 論文標題 Efficient Generation of Small Intestinal Epithelial-like Cells from Human iPSCs for Drug Absorption and Metabolism Studies	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Stem Cell Reports	6. 最初と最後の頁 1539 ~ 1550
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.stemcr.2018.10.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Johmura Yoshikazu, Maeda Ichiro, Suzuki Narumi, Wu Wenwen, Goda Atsushi, Morita Mariko, Yamaguchi Kiyoshi, Yamamoto Mizuki, Nagasawa Sato, Kojima Yasuyuki, Tsugawa Koichiro, Inoue Natsuko, Miyoshi Yasuo, Osako Tomo, Akiyama Futoshi, Maruyama Reo, Inoue Jun-ichiro, Furukawa Yoichi, Ohta Tomohiko, Nakanishi Makoto	4. 巻 128
2. 論文標題 Fbxo22-mediated KDM4B degradation determines selective estrogen receptor modulator activity in breast cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Investigation	6. 最初と最後の頁 5603 ~ 5619
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI121679	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakanishi Keiko, Niida Hiroyuki, Tabata Hidenori, Ito Tsuyoshi, Hori Yuki, Hattori Madoka, Johmura Yoshikazu, Yamada Chisato, Ueda Takashi, Takeuchi Kosei, Yamada Kenichiro, Nagata Koh-ichi, Wakamatsu Nobuaki, Kishi Masashi, Pan Y Albert, Ugawa Shinya, Shimada Shoichi, Sanes Joshua R, Higashi Yujiro, Nakanishi Makoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Isozyme-Specific Role of SAD-A in Neuronal Migration During Development of Cerebral Cortex	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhy253	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishimoto Yuina, Ishibashi Ken-ichi, Yamanaka Daisuke, Adachi Yoshiyuki, Kanzaki Ken, Iwakura Yoichiro, Ohno Naohito	4. 巻 107
2. 論文標題 Production of low-molecular weight soluble yeast $\beta$ -glucan by an acid degradation method	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Biological Macromolecules	6. 最初と最後の頁 2269 ~ 2278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijbiomac.2017.10.094	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida Kaori, Murayama Masanori A., Shimizu Kenji, Tang Ce, Katagiri Nanako, Matsuo Kenzo, Fukai Fumio, Iwakura Yoichiro	4. 巻 496
2. 論文標題 IL-1R2 deficiency suppresses dextran sodium sulfate-induced colitis in mice via regulation of microbiota	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 934 ~ 940
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.01.116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Liu Shou, Lee Ji Shin, Jie Chunfa, Park Min Ho, Iwakura Yoichiro, Patel Yogin, Soni Mithil, Reisman David, Chen Hexin	4. 巻 78
2. 論文標題 HER2 Overexpression Triggers an IL1 Proinflammatory Circuit to Drive Tumorigenesis and Promote Chemotherapy Resistance	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 2040 ~ 2051
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-17-2761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikenoue Tsuneo, Terakado Yumi, Zhu Chi, Liu Xun, Ohsugi Tomoyuki, Matsubara Daisuke, Fujii Tomoki, Kakuta Shigeru, Kubo Sachiko, Shibata Takuma, Yamaguchi Kiyoshi, Iwakura Yoichiro, Furukawa Yoichi	4. 巻 8
2. 論文標題 Establishment and analysis of a novel mouse line carrying a conditional knockin allele of a cancer-specific FBXW7 mutation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 2021
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-19769-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Marazioti A, Lilis I, Vreka M, Apostolopoulou H, Kalogeropoulou A, Giopanou I, Giotopoulou GA, Krontira AC, Iliopoulou M, Kanellakis NI, Agalioti T, Giannou AD, Jones-Paris C, Iwakura Y, Kardamakis D, Blackwell TS, Taraviras S, Spella M, Stathopoulos GT.	4. 巻 9
2. 論文標題 Myeloid-derived interleukin-1 drives oncogenic KRAS-NF- $\kappa$ B addiction in malignant pleural effusion	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 672
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-03051-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukasaki Masayuki, Komatsu Noriko, Nagashima Kazuki, Nitta Takeshi, Pluemsakunthai Warunee, Shukunami Chisa, Iwakura Yoichiro, Nakashima Tomoki, Okamoto Kazuo, Takayanagi Hiroshi	4. 巻 9
2. 論文標題 Host defense against oral microbiota by bone-damaging T cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 701
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-03147-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhu Gaizhi, Liu Xiaoling, Fang Ying, Zhai Bing, Xu Ruonan, Han Gencheng, Chen Guojiang, Xiao He, Hou Chunmei, Shen Beifen, Li Yan, Iwakura Yoichiro, Wang Liang, Jiang Zhenyu, Ma Ning, Liu Guangchao, Wang Renxi	4. 巻 328
2. 論文標題 Increased mTOR cancels out the effect of reduced Xbp-1 on antibody secretion in IL-1 $\beta$ -deficient B cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cellular Immunology	6. 最初と最後の頁 9~17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cellimm.2018.02.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suto Hajime, Nambu Aya, Morita Hideaki, Yamaguchi Sachiko, Numata Takafumi, Yoshizaki Takamichi, Shimura Eri, Arae Ken, Asada Yousuke, Motomura Kenichiro, Kaneko Mari, Abe Takaya, Matsuda Akira, Iwakura Yoichiro, Okumura Ko, Saito Hirohisa, Matsumoto Kenji, Sudo Katsuko, Nakae Susumu	4. 巻 142
2. 論文標題 IL-25 enhances TH17 cell-mediated contact dermatitis by promoting IL-1 production by dermal dendritic cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 1500 ~ 1509.e10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2017.12.1007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tong Honglian, Miyake Yasunobu, Mi-ichi Fumika, Iwakura Yoichiro, Hara Hiromitsu, Yoshida Hiroki	4. 巻 13
2. 論文標題 Apaf1 plays a negative regulatory role in T cell responses by suppressing activation of antigen-stimulated T cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0195119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0195119	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jeschke Jonathan C., Mayne Christopher G., Ziegelbauer Jennifer, DeCiantis Christopher L., Singh Selina, Kumar Suresh N., Suchi Mariko, Iwakura Yoichiro, Drobycki William R., Salzman Nita H, Williams Calvin B.	4. 巻 11
2. 論文標題 A model of TH17-associated ileal hyperplasia that requires both IL-17A and IFN to generate self-tolerance and prevent colitis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mucosal Immunology	6. 最初と最後の頁 1127 ~ 1137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41385-018-0023-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hashiguchi Yuriko, Yabe Rikio, Chung Soo-Hyun, Murayama Masanori A., Yoshida Kaori, Matsuo Kenzo, Kubo Sachiko, Saijo Shinobu, Nakamura Yuumi, Matsue Hiroyuki, Iwakura Yoichiro	4. 巻 201
2. 論文標題 IL-36 from Skin-Resident Cells Plays an Important Role in the Pathogenesis of Imiquimod-Induced Psoriasiform Dermatitis by Forming a Local Autoamplification Loop	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Immunology	6. 最初と最後の頁 167 ~ 182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1701157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Isoda Kikuo, Akita Koji, Kitamura Kenichi, Sato-Okabayashi Yayoi, Kadoguchi Tomoyasu, Isobe Sarasa, Ohtomo Fumie, Sano Motoaki, Shimada Kazunori, Iwakura Yoichiro, Daida Hiroyuki	4. 巻 270
2. 論文標題 Inhibition of interleukin-1 suppresses angiotensin II-induced aortic inflammation and aneurysm formation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Cardiology	6. 最初と最後の頁 221 ~ 227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijcard.2018.05.072	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita Takashi, Kobayashi Tadahiro, Mizumaki Kie, Kano Miyu, Sawada Tomoyo, Tennichi Momoko, Okamura Ai, Hamaguchi Yasuhito, Iwakura Yoichiro, Hasegawa Minoru, Fujimoto Manabu, Takehara Kazuhiko	4. 巻 4
2. 論文標題 BAFF inhibition attenuates fibrosis in scleroderma by modulating the regulatory and effector B cell balance	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Science Advances	6. 最初と最後の頁 eaas9944
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.aas9944	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibue Yasushi, Kimura Soichiro, Kajiwara Chiaki, Iwakura Yoichiro, Yamaguchi Keizo, Tateda Kazuhiro	4. 巻 21
2. 論文標題 Role of interleukin-17 in a murine community-associated methicillin-resistant Staphylococcus aureus pneumonia model	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Microbes and Infection	6. 最初と最後の頁 33 ~ 39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.micinf.2018.06.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wang H, D'Souza C, Lim XY, Kostenko L, Pediongco TJ, Eckle SBG, Meehan BS, Shi M, Wang N, Li S, Liu L, Mak JYW, Fairlie DP, Iwakura Y, Gunnarsen JM, Stent AW, Godfrey DI, Rossjohn J, Westall GP, Kjer-Nielsen L, Strugnell RA, McCluskey J, Corbett AJ, Hinks TSC, Chen Z.	4. 巻 9
2. 論文標題 MAIT cells protect against pulmonary Legionella longbeachae infection	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 3350
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05202-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maruyama K, Takayama Y, Sugisawa E, Yamanoi Y, Yokawa T, Kondo T, Ishibashi KI, Sahoo BR, Takemura N, Mori Y, Kanemaru H, Kumagai Y, Martino MM, Yoshioka Y, Nishijo H, Tanaka H, Sasaki A, Ohno N, Iwakura Y, Moriyama Y, Nomura M, Akira S, Tominaga M.	4. 巻 6
2. 論文標題 The ATP Transporter VNUT Mediates Induction of Dectin-1-Triggered Candida Nociception	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 306 ~ 318
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2018.08.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Numata Takafumi, Yoshizaki Takamichi, Yamaguchi Sachiko, Shimura Eri, Iwakura Yoichiro, Harada Kazutoshi, Sudo Katsuko, Tsuboi Ryoji, Nakae Susumu	4. 巻 506
2. 論文標題 IL-36 is involved in hapten-specific T-cell induction, but not local inflammation, during contact hypersensitivity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 429 ~ 436
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.10.104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oike Takatsugu, Kanagawa Hiroya, Sato Yuiko, Kobayashi Tami, Nakatsukasa Hiroko, Miyamoto Kana, Nakamura Satoshi, Kaneko Yosuke, Kobayashi Shu, Harato Kengo, Yoshimura Akihiko, Iwakura Yoichiro, Takeuchi Tsutomu, Matsumoto Morio, Nakamura Masaya, Niki Yasuo, Miyamoto Takeshi	4. 巻 8
2. 論文標題 IL-6, IL-17 and Stat3 are required for auto-inflammatory syndrome development in mouse	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 15783
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-34173-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhang Cun-Jin, Jiang Meiling, Zhou Hao, Liu Weiwei, Wang Chenhui, Kang Zizhen, Han Bing, Zhang Quanri, Chen Xing, Xiao Jianxin, Fisher Amanda, Kaiser William J., Murayama Masanori A., Iwakura Yoichiro, Gao Ji, Carman Julie, Dongre Ashok, Dubyak George, Abbott Derek W., Shi Fu-Dong, Ransohoff Richard M., Li Xiaoxia	4. 巻 128
2. 論文標題 TLR-stimulated IRAKM activates caspase-8 inflammasome in microglia and promotes neuroinflammation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Investigation	6. 最初と最後の頁 5399 ~ 5412
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI121901	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miura Takayuki, Kawakami Kazuyoshi, Kanno Emi, Tanno Hiromasa, Tada Hiroyuki, Sato Noriko, Masaki Airi, Yokoyama Rin, Kawamura Kotone, Kitai Yuki, Takagi Naoyuki, Yamaguchi Kenji, Yamaguchi Natsuki, Kyo Yoshika, Ishii Keiko, Imai Yoshimichi, Saijo Shinobu, Iwakura Yoichiro, Tachi Masahiro	4. 巻 139
2. 論文標題 Dectin-2 Mediated Signaling Leads to Delayed Skin Wound Healing through Enhanced Neutrophilic Inflammatory Response and Neutrophil Extracellular Trap Formation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Investigative Dermatology	6. 最初と最後の頁 702 ~ 711
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2018.10.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fan Qin, Tao Rong, Zhang Hang, Xie Hongyang, Lu Lin, Wang Ting, Su Min, Hu Jian, Zhang Qi, Chen Qiuqing, Iwakura Yoichiro, Shen Weifeng, Zhang Ruiyan, Yan Xiaoxiang	4. 巻 139
2. 論文標題 Dectin-1 Contributes to Myocardial Ischemia/Reperfusion Injury by Regulating Macrophage Polarization and Neutrophil Infiltration	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Circulation	6. 最初と最後の頁 663 ~ 678
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/CIRCULATIONAHA.118.036044	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iizuka Akira, Segawa Seiji, Kondo Yuya, Kaneko Shunta, Yokosawa Masahiro, Furuyama Kotona, Miki Haruka, Tahara Hanaoka Satoko, Shibuya Akira, Tsuboi Hiroto, Goto Daisuke, Matsumoto Isao, Shibayama Shiro, Sumida Takayuki	4. 巻 21
2. 論文標題 Allergy inhibitory receptor 1 inhibits autoantibody production via upregulation of apoptotic debris clearance by macrophages	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Rheumatic Diseases	6. 最初と最後の頁 2071-2078
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1756-185X.13381	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibuya Akira, Shibuya Kazuko	4. 巻 24
2. 論文標題 Exploring the Gut Fungi-Lung Allergy Axis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Host & Microbe	6. 最初と最後の頁 755 ~ 757
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chom.2018.11.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Nakamura Yoshiyuki, Matsuzaka Takashi, Tahara-Hanaoka Satoko, Shibuya Kazuko, Shimano Hitoshi, Nakahashi-Oda Chigusa, Shibuya Akira	4. 巻 9
2. 論文標題 Elovl6 regulates mechanical damage-induced keratinocyte death and skin inflammation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Death & Disease	6. 最初と最後の頁 1181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-018-1226-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujiyama Tomoyuki, Miyashita Satoshi, Tsuneoka Yousuke, Kanemaru Kazumasa, Kakizaki Miyo, Kanno Satomi, Ishikawa Yukiko, Yamashita Mariko, Owa Tomoo, Nagaoka Mai, Kawaguchi Yoshiya, Yanagawa Yuchio, Magnuson Mark A., Muratani Masafumi, Shibuya Akira, Nabeshima Yo-ichi, Yanagisawa Masashi, Funato Hiromasa, Hoshino Mikio	4. 巻 24
2. 論文標題 Forebrain Ptf1a Is Required for Sexual Differentiation of the Brain	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 79 ~ 94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.06.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chen Chen, Okita Yukari, Watanabe Yukihide, Abe Fumie, Fikry Muhammad Ali, Ichikawa Yumu, Suzuki Hiroyuki, Shibuya Akira, Kato Mitsuyasu	4. 巻 78
2. 論文標題 Glycoprotein nmb is exposed on the surface of dormant breast cancer cells and induces stem cell-like properties	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 6424-6435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-18-0599	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takenaka Eri, Van Vo Anh, Yamashita-Kanemaru Yumi, Shibuya Akira, Shibuya Kazuko	4. 巻 8
2. 論文標題 Selective DNAM-1 expression on small peritoneal macrophages contributes to CD4+ T cell costimulation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 15180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-33437-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Kazuki, Honda Shin-ichiro, Shibuya Akira, Shibuya Kazuko	4. 巻 200
2. 論文標題 Cutting Edge: Identification of Marginal Reticular Cells as Phagocytes of Apoptotic B Cells in Germinal Centers	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Immunology	6. 最初と最後の頁 3691 ~ 3696
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1701293	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Yuho, Naito Keisuke, Yamashita-Kanemaru Yumi, Komori Daisuke, Hirochika Rei, Shibuya Akira, Shibuya Kazuko	4. 巻 37
2. 論文標題 TX99 Is a Neutralizing Monoclonal Antibody Against Mouse TIGIT	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Monoclonal Antibodies in Immunodiagnosis and Immunotherapy	6. 最初と最後の頁 105 ~ 109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/mab.2018.0001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mohri Kensuke, Misu Hirofumi, Takayama Hiroaki, Ishii Kiyo-aki, Kikuchi Akihiro, Lan Fei, Enyama Yasufumi, Takeshita Yumie, Saito Yoshiro, Kaneko Shuichi, Takamura Toshinari	4. 巻 42
2. 論文標題 Circulating Concentrations of Insulin Resistance-Associated Hepatokines, Selenoprotein P and Leukocyte Cell-Derived Chemotaxin 2, during an Oral Glucose Tolerance Test in Humans	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 373 ~ 378
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b18-00549	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oo Swe Mar, Misu Hirofumi, Saito Yoshiro, Tanaka Mutsumi, Kato Seiji, Kita Yuki, Takayama Hiroaki, Takeshita Yumie, Kanamori Takehiro, Nagano Toru, Nakagen Masatoshi, Urabe Takeshi, Matsuyama Naoto, Kaneko Shuichi, Takamura Toshinari	4. 巻 8
2. 論文標題 Serum selenoprotein P, but not selenium, predicts future hyperglycemia in a general Japanese population	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 16727
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-35067-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saito Yoshio, Misu Hirofumi, Takayama Hiroaki, Takashima Shin-ichiro, Usui Soichiro, Takamura Masayuki, Kaneko Shuichi, Takamura Toshinari, Noguchi Noriko	4. 巻 41
2. 論文標題 Comparison of Human Selenoprotein P Determinants in Serum between Our Original Methods and Commercially Available Kits	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 828 ~ 832
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b18-00046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama Masakazu, Kikuchi Akihiro, Misu Hirofumi, Igawa Hirobumi, Ashihara Motooki, Kushima Youichi, Honda Kiyofumi, Suzuki Yoshiyuki, Kawabe Yoshiki, Kaneko Shuichi, Takamura Toshinari	4. 巻 13
2. 論文標題 Inhibin E (INHBE) is a possible insulin resistance-associated hepatokine identified by comprehensive gene expression analysis in human liver biopsy samples	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0194798
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0194798	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chadani Hiroshi, Usui Soichiro, Inoue Oto, Kusayama Takashi, Takashima Shin-ichiro, Kato Takeshi, Murai Hisayoshi, Furusho Hiroshi, Nomura Ayano, Misu Hirofumi, Takamura Toshinari, Kaneko Shuichi, Takamura Masayuki	4. 巻 19
2. 論文標題 Endogenous Selenoprotein P, a Liver-Derived Secretory Protein, Mediates Myocardial Ischemia/Reperfusion Injury in Mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 878 ~ 878
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms19030878	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Kazutoshi, Mizukoshi Eishiro, Seike Takuya, Horii Rika, Kitahara Masaaki, Sunagozaka Hajime, Arai Kuniaki, Yamashita Tatsuya, Honda Masao, Kaneko Shuichi	4. 巻 13
2. 論文標題 Light alcohol consumption has the potential to suppress hepatocellular injury and liver fibrosis in non-alcoholic fatty liver disease	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0191026
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0191026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe Hitoshi, Inaba Yuka, Kimura Kumi, Matsumoto Michihiro, Kaneko Shuichi, Kasuga Masato, Inoue Hiroshi	4. 巻 9
2. 論文標題 Sirt2 facilitates hepatic glucose uptake by deacetylating glucokinase regulatory protein	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-017-02537-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Eto Mitsuhiro, Hirota Wataru, Seno Shigeto, Matsuda Hideo	4. 巻 -
2. 論文標題 Asymmetric Integration of Single-Cell Transcriptomic Data using Latent Dirichlet Allocation and Procrustes Analysis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IEEE International Conference on Bioinformatics and Biomedicin	6. 最初と最後の頁 2129-2135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/bibm.2018.8621115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagahama Yasuharu, Shimoda Mayuko, Mao Guoliang, Singh Shailendra Kumar, Kozakai Yuuki, Sun Xin, Motooka Daisuke, Nakamura Shota, Tanaka Hiroki, Satoh Takashi, Maeda Kazuhiko, Akira Shizuo	4. 巻 115
2. 論文標題 Regnase-1 controls colon epithelial regeneration via regulation of mTOR and purine metabolism	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 11036 ~ 11041
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1809575115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Tatsuya, Okamoto Toru, Katoh Hiroshi, Sugiyama Yukari, Kusakabe Shinji, Tokunaga Makoto, Hirano Junki, Miyata Yuka, Fukuhara Takasuke, Ikawa Masahito, Satoh Takashi, Yoshio Sachiyo, Suzuki Ryosuke, Saijo Masayuki, Huang David C. S., Kanto Tatsuya, Akira Shizuo, Matsuura Yoshiharu	4. 巻 14
2. 論文標題 Infection with flaviviruses requires BCLXL for cell survival	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS Pathogens	6. 最初と最後の頁 e1007299
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1007299	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bambouskova M, Gorvel L, Lampropoulou V, Sergushichev A, Loginicheva E, Johnson K, Korenfeld D, Mathyer ME, Kim H, Huang LH, Duncan D, Bregman H, Keskin A, Santeford A, Apte RS, Sehgal R, Johnson B, Amarasinghe GK, Soares MP, Satoh T.	4. 巻 556
2. 論文標題 Electrophilic properties of itaconate and derivatives regulate the I B ?ATF3 inflammatory axis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 501 ~ 504
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-018-0052-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanemaru Hisashi, Yamane Fumihiro, Tanaka Hiroki, Maeda Kazuhiko, Satoh Takashi, Akira Shizuo	4. 巻 30
2. 論文標題 BATF2 activates DUSP2 gene expression and up-regulates NF- B activity via phospho-STAT3 dephosphorylation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 255 ~ 265
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxy023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishimoto Yuina, Ishibashi Ken-ichi, Yamanaka Daisuke, Adachi Yoshiyuki, Kanzaki Ken, Iwakura Yoichiro, Ohno Naohito	4. 巻 107
2. 論文標題 Production of low-molecular weight soluble yeast -glucan by an acid degradation method	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Biological Macromolecules	6. 最初と最後の頁 2269 ~ 2278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijbiomac.2017.10.094	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aono Yuichi, Horinaka Mano, Iizumi Yosuke, Watanabe Motoki, Taniguchi Tomoyuki, Yasuda Shusuke, Sakai Toshiyuki	4. 巻 505
2. 論文標題 Sulindac sulfone inhibits the mTORC1 pathway in colon cancer cells by directly targeting voltage-dependent anion channel 1 and 2	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 1203 ~ 1210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.10.050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hagiwara Nobuhisa, Watanabe Motoki, Iizuka-Ohashi Mahiro, Yokota Isao, Toriyama Seiji, Sukeno Mamiko, Tomosugi Mitsuhiro, Sowa Yoshihiro, Hongo Fumiya, Mikami Kazuya, Soh Jintetsu, Fujito Akira, Miyashita Hiroaki, Morioka Yukako, Miki Tsuneharu, Ukimura Osamu, Sakai Toshiyuki	4. 巻 431
2. 論文標題 Mevalonate pathway blockage enhances the efficacy of mTOR inhibitors with the activation of retinoblastoma protein in renal cell carcinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Letters	6. 最初と最後の頁 182 ~ 189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.canlet.2018.05.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iizuka-Ohashi Mahiro, Watanabe Motoki, Sukeno Mamiko, Morita Mie, Hoang Ngoc Thi Hong, Kuchimaru Takahiro, Kizaka-Kondoh Shinae, Sowa Yoshihiro, Sakaguchi Koichi, Taguchi Tetsuya, Sakai Toshiyuki	4. 巻 9
2. 論文標題 Blockage of the mevalonate pathway overcomes the apoptotic resistance to MEK inhibitors with suppressing the activation of Akt in cancer cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 19597-19612
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.24696	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nabe Shogo, Yamada Takeshi, Suzuki Junpei, Toriyama Koji, Yasuoka Toshiaki, Kuwahara Makoto, Shiraishi Atsushi, Takenaka Katsuto, Yasukawa Masaki, Yamashita Masakatsu	4. 巻 109
2. 論文標題 Reinforce the antitumor activity of CD8+ T cells via glutamine restriction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 3737 ~ 3750
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13827	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Junpei, Yamada Takeshi, Inoue Kazuki, Nabe Shogo, Kuwahara Makoto, Takemori Nobuaki, Takemori Ayako, Matsuda Seiji, Kanoh Makoto, Imai Yuuki, Yasukawa Masaki, Yamashita Masakatsu	4. 巻 9
2. 論文標題 The tumor suppressor menin prevents effector CD8 T-cell dysfunction by targeting mTORC1-dependent metabolic activation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 3296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05854-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyai Tomohiro, Takano Junichiro, Endo Takaho A., Kawakami Eiryō, Agata Yasutoshi, Motomura Yasutaka, Kubo Masato, Kashima Yukie, Suzuki Yutaka, Kawamoto Hiroshi, Ikawa Tomokatsu	4. 巻 32
2. 論文標題 Three-step transcriptional priming that drives the commitment of multipotent progenitors toward B cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genes & Development	6. 最初と最後の頁 112 ~ 126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/gad.309575.117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagashima Hiroyuki, Okuyama Yuko, Fujita Tsuyoshi, Takeda Takeo, Motomura Yasutaka, Moro Kazuyo, Hidaka Takanori, Omori Koki, Sakurai Tsuyoshi, Machiyama Tomoaki, Ndhlovu Lishomwa C., Riccardi Carlo, So Takanori, Ishii Naoto	4. 巻 141
2. 論文標題 GITR cosignal in ILC2s controls allergic lung inflammation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 1939 ~ 1943.e8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2018.01.028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kuzuya Kentaro, Ichihara Sahoko, Suzuki Yuka, Inoue Chisa, Ichihara Gaku, Kurimoto Syota, Oikawa Shinji	4. 巻 13
2. 論文標題 Proteomics analysis identified peroxiredoxin 2 involved in early-phase left ventricular impairment in hamsters with cardiomyopathy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0192624
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0192624	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita Junya, Okamura Kazuyuki, Nakabayashi Kazuhiko, Suzuki Takehiro, Horibe Yu, Kawai Tomoko, Sakurai Toshihiro, Yamashita Satoshi, Higami Yoshikazu, Ichihara Gaku, Hata Kenichiro, Nohara Keiko	4. 巻 18
2. 論文標題 The DNA methylation profile of liver tumors in C3H mice and identification of differentially methylated regions involved in the regulation of tumorigenic genes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 317
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-018-4221-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li Guoliang, Liang Lihong, Yang Jingchao, Zeng Lihai, Xie Zhiwei, Zhong Yizhou, Ruan Xiaolin, Dong Ming, Yang Zhanhong, Lai Guanchao, Huang Weixin, Yang Aichu, Chen Jiabing, Wu Banghua, Xu Huaming, Meng Dezhi, Hu Shijie, Xia Lihua, Yang Xingfen, Li Laiyu, Ichihara Sahoko, Ichihara Gaku, Huang Hanlin, Huang Zhenlie	4. 巻 12
2. 論文標題 Pulmonary hypofunction due to calcium carbonate nanomaterial exposure in occupational workers: a cross-sectional study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nanotoxicology	6. 最初と最後の頁 571 ~ 585
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17435390.2018.1465606	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zong Cai, Kimura Yusuke, Kinoshita Kazuo, Takasu Shigetada, Zhang Xiao, Sakurai Toshihiro, Sekido Yoshitaka, Ichihara Sahoko, Endo Ginji, Ichihara Gaku	4. 巻 168
2. 論文標題 Exposure to 1,2-Dichloropropane Upregulates the Expression of Activation-Induced Cytidine Deaminase (AID) in Human Cholangiocytes Co-Cultured With Macrophages	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Toxicological Sciences	6. 最初と最後の頁 137 ~ 148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/toxsci/kfy280	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Committee for Recommendation of Occupational Exposure Limits, Japan Society for Occupational Health, Araki A, Azuma K, Endo G, Endo Y, Fukushima T, Hara K, Hori H, Horie S, Horiguchi H, Ichiba M, Ichihara G, Ikeda M, Ishitake T, Ito A, Ito Y, Iwasawa S, Kakumu T, Kamijima M, Karita K.	4. 巻 60
2. 論文標題 Occupational Exposure Limits for ethylidene norbornene, ethyleneimine, benomyI, and 2,3-epoxypropyl methacrylate, and classifications on carcinogenicity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health	6. 最初と最後の頁 333 ~ 335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1539/joh.2018-0137-OP	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kromhout H, Friesen M, Marques MM, Sergi CM, Abdallah M, Benke G, Cesta M, Germolec D, Houck K, Ichihara G, Jameson CW, Kanno J, Pogribny I, Svendsen C, Benbrahim-Tallaa L, Guyton KZ, Grosse Y, El Ghissassi F, Bouvard V, Hall A.	4. 巻 19
2. 論文標題 Carcinogenicity of isobutyl nitrite, -picoline, and some acrylates	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Lancet Oncology	6. 最初と最後の頁 1020 ~ 1022
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S1470-2045(18)30491-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Kabata R, Okuda H, Noguchi A, Kondo D, Fujiwara M, Hata K, Kato Y, Ishikawa K, Tanaka M, Sekine Y, Hishikawa N, Mizukami T, Ito J, Akasaka M, Sakurai K, Yoshida T, Minoura H, Hayashi T, Inoshita K, Matsuyama M, Kinjo N, Cao Y, Inoue S, Kobayashi H, Harada KH, Youssefian S, Takahashi T, Koizumi A.	4. 巻 13
2. 論文標題 Familial episodic limb pain in kindreds with novel Nav1.9 mutations	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0208516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0208516	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Hatasu, Kabata Risako, Kinoshita Hideyuki, Morimoto Takaaki, Ono Koh, Takeda Midori, Choi Jungmi, Okuda Hiroko, Liu Wanyang, Harada Kouji H., Kimura Takeshi, Youssefian Shohab, Koizumi Akio	4. 巻 8
2. 論文標題 Rare variants in RNF213, a susceptibility gene for moyamoya disease, are found in patients with pulmonary hypertension and aggravate hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pulmonary Circulation	6. 最初と最後の頁 2.04589E+14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/2045894018778155	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morimoto Takaaki, Enmi Jun-ichiro, Hattori Yorito, Iguchi Satoshi, Saito Satoshi, Harada Kouji H., Okuda Hiroko, Mineharu Yohei, Takagi Yasushi, Youssefian Shohab, Iida Hidehiro, Miyamoto Susumu, Ihara Masafumi, Kobayashi Hatasu, Koizumi Akio	4. 巻 8
2. 論文標題 Dysregulation of RNF213 promotes cerebral hypoperfusion	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 3607
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22064-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Choi Jungmi, Kobayashi Hatasu, Okuda Hiroko, Harada Kouji H., Takeda Midori, Fujimoto Hiroyuki, Yamane Shunsuke, Tanaka Daisuke, Youssefian Shohab, Inagaki Nobuya, Koizumi Akio	4. 巻 13
2. 論文標題 -cell-specific overexpression of adiponectin receptor 1 does not improve diabetes mellitus in Akita mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0190863
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0190863	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Osawa Taeko, Fujihara Kazuya, Harada Mayuko, Yamamoto Masahiko, Ishizawa Masahiro, Suzuki Hiroshi, Ishiguro Hajime, Matsubayashi Yasuhiro, Seida Hiroyasu, Yamanaka Nauta, Tanaka Shiro, Shimano Hitoshi, Kodama Satoru, Sone Hirohito	4. 巻 35
2. 論文標題 Higher pulse pressure predicts initiation of dialysis in Japanese patients with diabetes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Diabetes/Metabolism Research and Reviews	6. 最初と最後の頁 e3120 ~ e3120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/dmrr.3120	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sladek Vladimir, Tokiwa Hiroaki, Shimano Hitoshi, Shigeta Yasuteru	4. 巻 14
2. 論文標題 Protein Residue Networks from Energetic and Geometric Data: Are They Identical?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Chemical Theory and Computation	6. 最初と最後の頁 6623 ~ 6631
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jctc.8b00733	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kodama S., Fujihara K., Horikawa C., Harada M., Ishiguro H., Kaneko M., Furukawa K., Matsubayashi Y., Matsunaga S., Shimano H., Tanaka S., Kato K., Sone H.	4. 巻 19
2. 論文標題 Network meta-analysis of the relative efficacy of bariatric surgeries for diabetes remission	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Obesity Reviews	6. 最初と最後の頁 1621 ~ 1629
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/obr.12751	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kodama Satoru, Horikawa Chika, Fujihara Kazuya, Ishii Dai, Hatta Mariko, Takeda Yasunaga, Kitazawa Masaru, Matsubayashi Yasuhiro, Shimano Hitoshi, Kato Kiminori, Tanaka Shiro, Sone Hirohito	4. 巻 27
2. 論文標題 Relationship between intake of fruit separately from vegetables and triglycerides - A meta-analysis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Nutrition ESPEN	6. 最初と最後の頁 53 ~ 58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clnesp.2018.07.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Araki Masaya, Nakagawa Yoshimi, Oishi Asayo, Han Song-iee, Wang Yunong, Kumagai Kae, Ohno Hiroshi, Mizunoe Yuhei, Iwasaki Hitoshi, Sekiya Motohiro, Matsuzaka Takashi, Shimano Hitoshi	4. 巻 19
2. 論文標題 The Peroxisome Proliferator-Activated Receptor (PPAR ) Agonist Pemafibrate Protects against Diet-Induced Obesity in Mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 2148 ~ 2148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms19072148	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li Nan, Li Min, Hong Wenxuan, Shao Jing, Xu Huihui, Shimano Hitoshi, Lu Jun, Xu Yong	4. 巻 1864
2. 論文標題 Brg1 regulates pro-lipogenic transcription by modulating SREBP activity in hepatocytes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochimica et Biophysica Acta (BBA) - Molecular Basis of Disease	6. 最初と最後の頁 2881 ~ 2889
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbadis.2018.05.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Furukawa Shoko, Suzuki Hiroaki, Fujihara Kazuya, Kobayashi Kazuto, Iwasaki Hitoshi, Sugano Yoko, Yatoh Shigeru, Sekiya Motohiro, Yahagi Naoya, Shimano Hitoshi	4. 巻 141
2. 論文標題 Malondialdehyde-modified LDL-related variables are associated with diabetic kidney disease in type 2 diabetes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Diabetes Research and Clinical Practice	6. 最初と最後の頁 237 ~ 243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.diabres.2018.05.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa Yoshimi, Shimano Hitoshi	4. 巻 19
2. 論文標題 CREBH Regulates Systemic Glucose and Lipid Metabolism	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 1396 ~ 1396
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms19051396	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ozawa Yusuke, Tamura Takafumi, Owada Yohei, Shimizu Yoshio, Kemmochi Akira, Hisakura Katsuji, Matsuzaka Takashi, Shimano Hitoshi, Isoda Hiroko, Ohkohchi Nobuhiro	4. 巻 24
2. 論文標題 Evaluation of safety for hepatectomy in a novel mouse model with nonalcoholic-steatohepatitis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 World Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 1622 ~ 1631
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3748/wjg.v24.i15.1622	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohno Hiroshi, Matsuzaka Takashi, Tang Nie, Sharma Rahul, Motomura Kaori, Shimura Takuya, Satoh Aoi, Han Song-lee, Takeuchi Yoshinori, Aita Yuichi, Iwasaki Hitoshi, Yatoh Shigeru, Suzuki Hiroaki, Sekiya Motohiro, Nakagawa Yoshimi, Sone Hirohito, Yahagi Naoya, Yamada Nobuhiro, Higami Yoshikazu, Shimano Hitoshi	4. 巻 159
2. 論文標題 Transgenic Mice Overexpressing SREBP-1a in Male ob/ob Mice Exhibit Lipodystrophy and Exacerbate Insulin Resistance	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Endocrinology	6. 最初と最後の頁 2308 ~ 2323
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1210/en.2017-03179	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Yuta, Takei Kenta, Arulmozhiraja Sundaram, Sladek Vladimir, Matsuo Naoya, Han Song-lee, Matsuzaka Takashi, Sekiya Motohiro, Tokiwa Takaki, Shoji Mitsuo, Shigeta Yasuteru, Nakagawa Yoshimi, Tokiwa Hiroaki, Shimano Hitoshi	4. 巻 499
2. 論文標題 Molecular association model of PPAR and its new specific and efficient ligand, pemafibrate: Structural basis for SPPARM	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 239 ~ 245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.03.135	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Karasawa Tadayoshi, Kawashima Akira, Usui-Kawanishi Fumitake, Watanabe Sachiko, Kimura Hiroaki, Kamata Ryo, Shirasuna Koumei, Koyama Yutaro, Sato-Tomita Ayana, Matsuzaka Takashi, Tomoda Hiroshi, Park Sam-Yong, Shibayama Naoya, Shimano Hitoshi, Kasahara Tadashi, Takahashi Masafumi	4. 巻 38
2. 論文標題 Saturated Fatty Acids Undergo Intracellular Crystallization and Activate the NLRP3 Inflammasome in Macrophages	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology	6. 最初と最後の頁 744 ~ 756
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/ATVBAHA.117.310581	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuan Xunmei, Tsujimoto Kazutaka, Hashimoto Koshi, Kawahori Kenichi, Hanzawa Nozomi, Hamaguchi Miho, Seki Takami, Nawa Makiko, Ehara Tatsuya, Kitamura Yohei, Hatada Izuho, Konishi Morichika, Itoh Nobuyuki, Nakagawa Yoshimi, Shimano Hitoshi, Takai-Igarashi Takako, Kamei Yasutomi, Ogawa Yoshihiro	4. 巻 9
2. 論文標題 Epigenetic modulation of Fgf21 in the perinatal mouse liver ameliorates diet-induced obesity in adulthood	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-03038-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Yasuhiro, Yatoh Shigeru, Suzuki Hiroaki, Tanabe Yuuki, Shimizu Yukiyo, Hada Yasushi, Shimano Hitoshi	4. 巻 30
2. 論文標題 Age-dependent changes in dynamic standing-balance ability evaluated quantitatively using a stabilometer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Physical Therapy Science	6. 最初と最後の頁 86 ~ 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1589/jpts.30.86	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Piao X, Yahagi N, Takeuchi Y, Aita Y, Murayama Y, Sawada Y, Shikama A, Masuda Y, Nishi-Tatsumi M, Kubota M, Izumida Y, Sekiya M, Matsuzaka T, Nakagawa Y, Sugano Y, Iwasaki H, Kobayashi K, Yatoh S, Suzuki H, Yagyu H, Kawakami Y, Shimano H.	4. 巻 592
2. 論文標題 A candidate functional SNP rs7074440 in TCF7L2 alters gene expression through C-FOS in hepatocytes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 FEBS Letters	6. 最初と最後の頁 422 ~ 433
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1873-3468.12975	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumura-Matsuda Erika, Sekiya Motohiro, Omoto-Inuzuka Miyoko, Santo Kana, Shikama Akito, Kuba Motoko, Sugano Yoko, Iwasaki Hitoshi, Yatoh Shigeru, Sato Taiki, Hara Hisato, Takekoshi Kazuhiro, Suzuki Hiroaki, Shimano Hitoshi	4. 巻 57
2. 論文標題 A Rare Coexistence of Pheochromocytoma and Parkinson's Disease With Diagnostic Challenges	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 979 ~ 985
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.9242-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morikawa Sakiko Yoshizawa, Fujihara Kazuya, Hatta Mariko, Osawa Taeko, Ishizawa Masahiro, Yamamoto Masahiko, Furukawa Kazuo, Ishiguro Hajime, Matsunaga Satoshi, Ogawa Yohei, Shimano Hitoshi, Sone Hirohito	4. 巻 19
2. 論文標題 Relationships among cardiorespiratory fitness, muscular fitness, and cardiometabolic risk factors in Japanese adolescents: Niigata screening for and preventing the development of non-communicable disease study-Agano (NICE EVIDENCE Study-Agano) 2	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatric Diabetes	6. 最初と最後の頁 593 ~ 602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pedi.12623	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawamura Shunsuke, Ohteki Toshiaki	4. 巻 30
2. 論文標題 Monopoiesis in humans and mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 503-509
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxy063	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakanishi Y, Sato T, Takahashi K, Ohteki T	4. 巻 11
2. 論文標題 IFN- $\gamma$ -dependent epigenetic regulation instructs colitogenic monocyte/macrophage lineage differentiation in vivo	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mucosal Immunology	6. 最初と最後の頁 871 ~ 880
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/mi.2017.104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oishi Yumiko, Manabe Ichiro	4. 巻 30
2. 論文標題 Macrophages in inflammation, repair and regeneration	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 511-528
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxy054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aiba Toshiki, Saito Toshiyuki, Hayashi Akiko, Sato Shinji, Yunokawa Harunobu, Maruyama Toru, Fujibuchi Wataru, Ohsako Seiichiroh	4. 巻 40
2. 論文標題 Does the prenatal bisphenol A exposure alter DNA methylation levels in the mouse hippocampus?: An analysis using a high-sensitivity methylome technique	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genes and Environment	6. 最初と最後の頁 12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41021-018-0099-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurita Hisaka, Aiba Toshiki, Saito Toshiyuki, Ohsako Seiichiroh	4. 巻 40
2. 論文標題 Detection of dioxin-induced demethylation of mouse Cyp1a1 gene promoter by a new labeling method for short DNA fragments possessing 5'-methylcytosine at the end	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genes and Environment	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41021-017-0089-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohsako Seiichiroh, Aiba Toshiki, Miyado Mami, Fukami Maki, Ogata Tsutomu, Hayashi Yutaro, Mizuno Kentaro, Kojima Yoshiyuki	4. 巻 74
2. 論文標題 Expression of Xenobiotic Biomarkers CYP1 Family in Preputial Tissue of Patients with Hypospadias and Phimosis and Its Association with DNA Methylation Level of SRD5A2 Minimal Promoter	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Archives of Environmental Contamination and Toxicology	6. 最初と最後の頁 240 ~ 247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00244-017-0466-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Souma Kunihiko, Shichino Shigeyuki, Hashimoto Shinichi, Ueha Satoshi, Tsukui Tatsuya, Nakajima Takuya, Suzuki Hiroshi I., Shand Francis H. W., Inagaki Yutaka, Nagase Takahide, Matsushima Kouji	4. 巻 8
2. 論文標題 Lung fibroblasts express a miR-19a-19b-20a sub-cluster to suppress TGF- $\beta$ -associated fibroblast activation in murine pulmonary fibrosis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 16642
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-34839-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shiraishi Kazushige, Shichino Shigeyuki, Ueha Satoshi, Nakajima Takuya, Hashimoto Shinichi, Yamazaki Satoshi, Matsushima Kouji	4. 巻 11
2. 論文標題 Mesenchymal-Epithelial Interactome Analysis Reveals Essential Factors Required for Fibroblast-Free Alveolosphere Formation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 318 ~ 333
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2018.12.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwakami Yusuke, Yokoyama Satoru, Watanabe Kensuke, Hayakawa Yoshihiro	4. 巻 507
2. 論文標題 STAM-binding protein regulates melanoma metastasis through SLUG stabilization	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 484 ~ 488
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.11.068	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Yutaka, Miyazato Kiho, Takahashi Kei, Yoshimura Naoki, Tahara Hideaki, Hayakawa Yoshihiro	4. 巻 109
2. 論文標題 Lung-resident natural killer cells control pulmonary tumor growth in mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 2670 ~ 2676
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13703	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Moriguchi Takashi, Hoshino Tomofumi, Rao Arvind, Yu Lei, Takai Jun, Uemura Satoshi, Ise Kazue, Nakamura Yasuhiro, Lim Kim-Chew, Shimizu Ritsuko, Yamamoto Masayuki, Engel James Douglas	4. 巻 38
2. 論文標題 A Gata3 3 Distal Otic Vesicle Enhancer Directs Inner Ear-Specific Gata3 Expression	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Molecular and Cellular Biology	6. 最初と最後の頁 e00302-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/MCB.00302-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Kishikawa Takahiro, Otsuka Motoyuki, Suzuki Tatsunori, Seimiya Takahiro, Sekiba Kazuma, Ishibashi Rei, Tanaka Eri, Ohno Motoko, Yamagami Mari, Koike Kazuhiko	4. 巻 16
2. 論文標題 Satellite RNA Increases DNA Damage and Accelerates Tumor Formation in Mouse Models of Pancreatic Cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Molecular Cancer Research	6. 最初と最後の頁 1255 ~ 1262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1541-7786.MCR-18-0139	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Otsuka Motoyuki, Tanaka Eri, Sekiba Kazuma, Seimiya Takahiro, Yamagami Mari, Koike Kazuhiko	4. 巻 2
2. 論文標題 MicroRNA-7: a potent suppressor of the malignant potential of hepatocellular carcinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Non-coding RNA Investigation	6. 最初と最後の頁 30 ~ 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21037/ncr.2018.05.04	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sekiba Kazuma, Otsuka Motoyuki, Ohno Motoko, Yamagami Mari, Kishikawa Takahiro, Suzuki Tatsunori, Ishibashi Rei, Seimiya Takahiro, Tanaka Eri, Koike Kazuhiko	4. 巻 24
2. 論文標題 Hepatitis B virus pathogenesis: Fresh insights into hepatitis B virus RNA	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 World Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 2261 ~ 2268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3748/wjg.v24.i21.2261	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sekiba Kazuma, Otsuka Motoyuki, Ohno Motoko, Kishikawa Takahiro, Yamagami Mari, Suzuki Tatsunori, Ishibashi Rei, Seimiya Takahiro, Tanaka Eri, Koike Kazuhiko	4. 巻 9
2. 論文標題 DHX9 regulates production of hepatitis B virus-derived circular RNA and viral protein levels	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 20953-20964
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.25104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kamiya T, Tang C, Kadoki M, Oshima K, Hattori M, Saijo S, Adachi Y, Ohno N, Iwakura Y	4. 巻 11
2. 論文標題 -Glucans in food modify colonic microflora by inducing antimicrobial protein, calprotectin, in a Dectin-1-induced-IL-17F-dependent manner	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mucosal Immunology	6. 最初と最後の頁 763 ~ 773
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/mi.2017.86	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tang Ce, Kakuta Shigeru, Shimizu Kenji, Kadoki Motohiko, Kamiya Tomonori, Shimazu Tomoyuki, Kubo Sachiko, Saijo Shinobu, Ishigame Harumichi, Nakae Susumu, Iwakura Yoichiro	4. 巻 19
2. 論文標題 Suppression of IL-17F, but not of IL-17A, provides protection against colitis by inducing Treg cells through modification of the intestinal microbiota	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Immunology	6. 最初と最後の頁 755 ~ 765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41590-018-0134-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohashi Tomoko, Kato Masaki, Yamasaki Akihiro, Kuwano Akifumi, Suzuki Hideo, Kohjima Motoyuki, Ogawa Yoshihiro	4. 巻 118
2. 論文標題 Effects of high fructose intake on liver injury progression in high fat diet induced fatty liver disease in ovariectomized female mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Food and Chemical Toxicology	6. 最初と最後の頁 190 ~ 197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fct.2018.05.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Goto Toshihiro, Itoh Michiko, Suganami Takayoshi, Kanai Sayaka, Shirakawa Ibuki, Sakai Takeru, Asakawa Masahiro, Yoneyama Toshihiro, Kai Toshihiro, Ogawa Yoshihiro	4. 巻 8
2. 論文標題 Obeticholic acid protects against hepatocyte death and liver fibrosis in a murine model of nonalcoholic steatohepatitis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 8157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-26383-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yunoki Kaori, Yoshinaga Sosuke, Takeda Mitsuhiro, Nagano Ryohei, Tsuchiya Yusuke, Sonoda Akihiro, Tsuji Tatsuichiro, Hirakane Makoto, Toda Etsuko, Terashima Yuya, Matsushima Kouji, Terasawa Hiroaki	4. 巻 23
2. 論文標題 Efficient identification of compounds suppressing protein precipitation via solvent screening using serial deletion mutants of the target protein	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genes to Cells	6. 最初と最後の頁 70 ~ 79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12554	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueta Hisashi, Kitazawa Yusuke, Sawanobori Yasushi, Ueno Takamasa, Ueha Satoshi, Matsushima Kouji, Matsuno Kenjiro	4. 巻 30
2. 論文標題 Single blood transfusion induces the production of donor-specific alloantibodies and regulatory T cells mainly in the spleen	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 53 ~ 67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxx078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hosoi Akihiro, Takeda Kazuyoshi, Nagaoka Koji, Iino Tamaki, Matsushita Hirokazu, Ueha Satoshi, Aoki Shin, Matsushima Kouji, Kubo Masato, Morikawa Teppei, Kitaura Kazutaka, Suzuki Ryuji, Kakimi Kazuhiro	4. 巻 8
2. 論文標題 Increased diversity with reduced "diversity evenness" of tumor infiltrating T-cells for the successful cancer immunotherapy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1058
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-19548-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morimoto Takaaki, Enmi Jun-ichiro, Hattori Yorito, Iguchi Satoshi, Saito Satoshi, Harada Kouji H., Okuda Hiroko, Mineharu Yohei, Takagi Yasushi, Youssefian Shohab, Iida Hidehiro, Miyamoto Susumu, Ihara Masafumi, Kobayashi Hatasu, Koizumi Akio	4. 巻 8
2. 論文標題 Dysregulation of RNF213 promotes cerebral hypoperfusion	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 3607
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22064-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogura Keisuke, Sato-Matsushita Marimo, Yamamoto Seiji, Hori Takashi, Sasahara Masakiyo, Iwakura Yoichiro, Saiki Ikuo, Tahara Hideaki, Hayakawa Yoshihiro	4. 巻 6
2. 論文標題 NK Cells Control Tumor-Promoting Function of Neutrophils in Mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Immunology Research	6. 最初と最後の頁 348 ~ 357
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2326-6066.CIR-17-0204	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohsako Seiichiroh, Aiba Toshiki, Miyado Mami, Fukami Maki, Ogata Tsutomu, Hayashi Yutaro, Mizuno Kentaro, Kojima Yoshiyuki	4. 巻 74
2. 論文標題 Expression of Xenobiotic Biomarkers CYP1 Family in Preputial Tissue of Patients with Hypospadias and Phimosis and Its Association with DNA Methylation Level of SRD5A2 Minimal Promoter	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Archives of Environmental Contamination and Toxicology	6. 最初と最後の頁 240 ~ 247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00244-017-0466-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueta H, Kitazawa Y, Sawanobori Y, Ueno T, Ueha S, Matsushima K, Matsuno K.	4. 巻 8
2. 論文標題 Single blood transfusion induces the production of donor-specific alloantibodies and regulatory T cells mainly in the spleen.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Int Immunol	6. 最初と最後の頁 53-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxx078.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morimoto T, Enmi JI, Hattori Y, Iguchi S, Saito S, Harada KH, Okuda H, Mineharu Y, Takagi Y, Youssefian S, Iida H, Miyamoto S, Ihara M, Kobayashi H, Koizumi A.	4. 巻 26
2. 論文標題 Dysregulation of RNF213 promotes cerebral hypoperfusion.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 3607
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22064-8.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Endo S, Xia S, Suyama M, Morikawa Y, Oguri H, Hu D, Ao Y, Takahara S, Horino Y, Hayakawa Y, Watanabe Y, Gouda H, Hara A, Kuwata K, Toyooka N, Matsunaga T, Ikari A.	4. 巻 8
2. 論文標題 Correction to Synthesis of Potent and Selective Inhibitors of Aldo-Keto Reductase 1B10 and Their Efficacy against Proliferation, Metastasis, and Cisplatin Resistance of Lung Cancer Cells.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Med Chem	6. 最初と最後の頁 1380
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jmedchem.7b01911	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohsako S, Aiba T, Miyado M, Fukami M, Ogata T, Hayashi Y, Mizuno K, Kojima Y.	4. 巻 74(2)
2. 論文標題 Expression of Xenobiotic Biomarkers CYP1 Family in Preputial Tissue of Patients with Hypospadias and Phimosi and Its Association with DNA Methylation Level of SRD5A2 Minimal Promoter.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Arch Environ Contam Toxicol	6. 最初と最後の頁 240-247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00244-017-0466-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yunoki K, Yoshinaga S, Takeda M, Nagano R, Tsuchiya Y, Sonoda A, Tsuji T, Hirakane M, Toda E, Terashima Y, Matsushima K, Terasawa H.	4. 巻 23(2)
2. 論文標題 Efficient identification of compounds suppressing protein precipitation via solvent screening using serial deletion mutants of the target protein.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genes Cells	6. 最初と最後の頁 70-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12554	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogura K, Sato-Matsushita M, Yamamoto S, Hori T, Sasahara M, Iwakura Y, Saiki I, Tahara H, Hayakawa Y.	4. 巻 23
2. 論文標題 NK Cells Control Tumor-Promoting Function of Neutrophils in Mice.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Immunol Res	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2326-6066.CIR-17-0204.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hosoi A, Takeda K, Nagaoka K, Iino T, Matsushita H, Ueha S, Aoki S, Matsushima K, Kubo M, Morikawa T, Kitaura K, Suzuki R, Kakimi K.	4. 巻 18
2. 論文標題 Increased diversity with reduced "diversity evenness" of tumor infiltrating T-cells for the successful cancer immunotherapy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 1058
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-19548-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mojic M, Takeda K, Hayakawa Y.	4. 巻 28
2. 論文標題 The Dark Side of IFN-g: Its Role in Promoting Cancer Immune Evasion.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Mol Sci	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms19010089.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kosugi-Kanaya M, Ueha S, Abe J, Shichino S, Shand FHW, Morikawa T, Kurachi M, Shono Y, Sudo N, Yamashita A, Suenaga F, Yokoyama A, Yong W, Imamura M, Teshima T, Matsushima K.	4. 巻 18
2. 論文標題 Long-Lasting Graft-Derived Donor T Cells Contribute to the Pathogenesis of Chronic Graft-versus-Host Disease in Mice.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front Immunol	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2017.1842	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kamiyama M, Shirai T, Tamura S, Suzuki-Inoue K, Ehata S, Takahashi K, Miyazono K, Hayakawa Y, Sato T, Takeda K, Naguro I, Ichijo H.	4. 巻 24(12)
2. 論文標題 ASK1 facilitates tumor metastasis through phosphorylation of an ADP receptor P2Y(12) in platelets.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Death Differ	6. 最初と最後の頁 2066-2076
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/cdd.2017.114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nasti A, Sakai Y, Seki A, Buffa GB, Komura T, Mochida H, Yamato M, Yoshida K, Ho TTB, Takamura M, Usui S, Wada T, Honda M, Kaneko S.	4. 巻 47(12)
2. 論文標題 The CD45(+) fraction in murine adipose tissue derived stromal cells harbors immune-inhibitory inflammatory cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Eur J Immunol	6. 最初と最後の頁 2163-2174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/eji.201646835	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sawada Y, Izumida Y, Takeuchi Y, Aita Y, Wada N, Li E, Murayama Y, Piao X, Shikama A, Masuda Y, Nishi-Tatsumi M, Kubota M, Sekiya M, Matsuzaka T, Nakagawa Y, Sugano Y, Iwasaki H, Kobayashi K, Yatoh S, Suzuki H, Yagyu H, Kawakami Y, et al.	4. 巻 4
2. 論文標題 Effect of sodium-glucose cotransporter 2 (SGLT2) inhibition on weight loss is partly mediated by liver-brain-adipose neurocircuitry.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 40-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.9.81	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ono H, Iizumi Y, Goi W, Sowa Y, Taguchi T, Sakai T.	4. 巻 38(5)
2. 論文標題 Ribosomal protein S3 regulates XIAP expression independently of the NF- $\kappa$ B pathway in breast cancer cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncol Rep	6. 最初と最後の頁 3205-3210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/or.2017.6008.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kim JH, Kurtz A, Yuan BZ, Zeng F, Lomax G, Loring JF, Crook J, Ju JH, Clarke L, Inamdar MS, Pera M, Firpo MT, Sheldon M, Rahman N, O'Shea O, Pranke P, Zhou Q, Isasi R, Rungsiwut R, Kawamata S, Oh S, Ludwig T, et al.	4. 巻 6(11)
2. 論文標題 Report of the International Stem Cell Banking Initiative Workshop Activity: Current Hurdles and Progress in Seed-Stock Banking of Human Pluripotent Stem Cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Stem Cells Transl Med	6. 最初と最後の頁 1956-1962
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sctm.17-0144.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hashimoto S, Tabuchi Y, Yurino H, Hirohashi Y, Deshimaru S, Asano T, Mariya T, Oshima K, Takamura Y, Ukita Y, Ametani A, Kondo N, Monma N, Takeda T, Misu S, Okayama T, Ikeo K, Saito T, Kaneko S, Suzuki Y, Hattori M, Matsushima K, et al.	4. 巻 27
2. 論文標題 Comprehensive single-cell transcriptome analysis reveals heterogeneity in endometrioid adenocarcinoma tissues.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 14225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-14676-3.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nosaka T, Naito T, Hiramatsu K, Ohtani M, Nemoto T, Marusawa H, Ma N, Hiraku Y, Kawanishi S, Yamashita T, Kaneko S, Nakamoto Y.	4. 巻 2
2. 論文標題 Gene expression profiling of hepatocarcinogenesis in a mouse model of chronic hepatitis B.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0185442
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.185442	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueha S, Yokochi S, Ishiwata Y, Kosugi-Kanaya M, Shono Y, Shibayama S, Ito S, Matsushima K.	4. 巻 108(10)
2. 論文標題 Combination of anti-CD4 antibody treatment and donor lymphocyte infusion ameliorates graft-versus-host disease while preserving graft-versus-tumor effects in murine allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 1967-1973
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13346	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katayama H, Tamai K, Shibuya R, Nakamura M, Mochizuki M, Yamaguchi K, Kawamura S, Tochigi T, Sato I, Okanishi T, Sakurai K, Fujibuchi W, Arai Y, Satoh K.	4. 巻 20
2. 論文標題 Long non-coding RNA HOTAIR promotes cell migration by upregulating insulin growth factor-binding protein 2 in renal cell carcinoma.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 12016
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-12191-z.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Wu H, Tao A, Martin JD, Quader S, Liu X, Takahashi K, Hespel L, Miura Y, Hayakawa Y, Irimura T, Cabral H, Kataoka K.	4. 巻 106(9)
2. 論文標題 Proteasome Inhibitor-Loaded Micelles Enhance Antitumor Activity Through Macrophage Reprogramming by NF- $\kappa$ B Inhibition.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Pharm Sci	6. 最初と最後の頁 2438-2446
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.xphs.2017.3.31	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurachi M, Kurachi J, Chen Z, Johnson J, Khan O, Bengsch B, Stelekati E, Attanasio J, McLane LM, Tomura M, Ueha S, Wherry EJ.	4. 巻 12(9)
2. 論文標題 Optimized retroviral transduction of mouse T cells for in vivo assessment of gene function.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nat Protoc	6. 最初と最後の頁 1980-1998
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nprot.2017.83.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuda Y, Mineharu Y, Kimura M, Takagi Y, Kobayashi H, Hitomi T, Harada KH, Uchihashi Y, Funaki T, Miyamoto S, Koizumi A.	4. 巻 26(8)
2. 論文標題 RNF213 p.R4810K Variant and Intracranial Arterial Stenosis or Occlusion in Relatives of Patients with Moyamoya Disease.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Stroke Cerebrovasc Dis	6. 最初と最後の頁 1841-1847
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2017.4.19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Committee for Recommendation of Occupational Exposure Limits, Japan Society for Occupational Health., Azuma K, Endo G, Endo Y, Fukushima T, Hara K, Hori H, Horie S, Horiguchi H, Ichiba M, Ichihara G, Ikeda M, Ishitake T, Ito A, Ito Y, Iwasawa S, Kamijima M, Karita K, Katoh T, Kawai T, Kawamoto T, Kishi R, et al.	4. 巻 27
2. 論文標題 Occupational exposure limits for ethylene glycol monobutyl ether, isoprene, isopropyl acetate and propyleneimine, and classifications on carcinogenicity, occupational sensitizer and reproductive toxicant.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Occup Health	6. 最初と最後の頁 364-366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1539/joh.17-0148-OP.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhao H, Matsuzaka T, Nakano Y, Motomura K, Tang N, Yokoo T, Okajima Y, Han SI, Takeuchi Y, Aita Y, Iwasaki H, Yatoh S, Suzuki H, Sekiya M, Yahagi N, Nakagawa Y, Sone H, Yamada N, Shimano H.	4. 巻 66(7)
2. 論文標題 Elovl6 Deficiency Improves Glycemic Control in Diabetic db/db Mice by Expanding $\beta$ -Cell Mass and Increasing Insulin Secretory Capacity.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Diabetes	6. 最初と最後の頁 1833-1846
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2337/db16-1277.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Xu X, Yokoyama S, Hayakawa Y, Saiki I.	4. 巻 38(1)
2. 論文標題 CoptidisRhizoma induces intrinsic apoptosis through BAX and BAK activation in human melanoma.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncol Rep	6. 最初と最後の頁 538-544
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/or.2017.5672	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iki T, Tanaka M, Kitajiri SI, Kita T, Kawasaki Y, Mizukoshi A, Fujibuchi W, Nakagawa T, Nakahata T, Ito J, Omori K, Saito MK.	4. 巻 12(6)
2. 論文標題 Microarray analyses of otospheres derived from the cochlea in the inner ear identify putative transcription factors that regulate the characteristics of otospheres.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0179901
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.179901	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計4件

1. 著者名 村上誠	4. 発行年 2020年
2. 出版社 一般社団法人 日本アレルギー学会	5. 総ページ数 250-255
3. 書名 脂質とアレルギー疾患, アレルギー, 69 (4)	

1. 著者名 村上誠	4. 発行年 2021年
2. 出版社 北隆館	5. 総ページ数 13-16
3. 書名 脂質メディエーターによるマスト細胞とアレルギー炎症の制御, アレルギーの臨床, 41 (2)	

1. 著者名 酒井敏行	4. 発行年 2021年
2. 出版社 薬事日報社	5. 総ページ数 63-77
3. 書名 THE 創薬 -少資源国家にっぽんの生きる道-	

1. 著者名 岩田恭宜・中出祐介・和田隆志	4. 発行年 2020年
2. 出版社 エヌ・ティー・エス	5. 総ページ数 361-365
3. 書名 腸内細菌代謝産物による腎臓病の治療薬開発, ヒトマイクロバイオーム, Vol.2	

〔産業財産権〕

〔その他〕

新学術領域研究 予防を科学する炎症細胞社会学 ホームページ  
<http://inflammationcellularsociology.org/>  
 炎症細胞社会データベース (2023年4月以降公開予定)

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	橋本 真一  (Hashimoto Shin-ichi)  (00313099)	和歌山県立医科大学・先端医学研究所・教授    (24701)	
研究 分 担 者	藤渕 航  (Fujibuchi Wataru)  (60273512)	京都大学・iPS細胞研究所・教授    (14301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会	開催年
文部科学省新学術領域研究 予防を科学する炎症細胞社会学 1st International Symposium on Inflammation Cellular Sociology (第1回国際シンポジウム)	2019年～2019年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関